

目次

1. はじめに	1
2. 研究背景	1
3. 先行研究	2
3.1 先行研究の検討	2
3.2 先行研究の共通点	4
3.3 先行研究の相違点	4
3.4 先行研究の問題点	4
4. 研究目的と研究意義.....	5
4.1 研究目的	5
4.2 研究意義	5
5. 研究対象	6
6. 研究方法	6
7. コーパス調査の概要—対象データと調査項目について.....	6
7.1 調査範囲	6
7.2 調査の目的.....	7
7.3 調査の対象	8
7.4 調査の方法	8
7.5 データの処理	9
7.6 データの分析.....	9
7.7 調査の結果	10
7.7.1 性別	13
7.7.2 年齢.....	16
7.7.3 場面	19
7.7.4 場面における男女別出現実態	21
7.7.5 相手との関係	23
7.7.6 「どうも」の使われ方	25
7.7.7 まとめ	27
8. 「単体どうも」	27
8.1 「単体どうも」の出現状況.....	29
8.2 用法別に見る「単体どうも」	30
8.4 場面における用法.....	34
8.5 場面別に見る「単体どうも」	35
8.6 場面における用法	40
8.7 発話者の性別	41
8.8 場面別による男女差	42
8.9 年代別にみる「単体どうも」	43
8.10 年代別による使い分け.....	44
8.11 発話者からみる「単体どうも」	45

8.12	発話者と受話者の関係.....	47
8.13	職場関係に見る「単体どうも」.....	48
8.14	全体考察.....	49
8.15	まとめ.....	53
9.	「複合体どうも」の使用実態.....	54
9.1	調査の目的.....	54
9.2	「複合体どうも」のバリエーション.....	54
9.3	「複合体どうも」用法の定義.....	56
9.4	「複合体どうも」の用法分類.....	57
9.5	場面に見る「複合体どうも」.....	58
9.6	場面における用法の使い分け.....	59
9.7	性別.....	63
9.8	場面別による男女差.....	64
9.9	年代別にみる「複合体どうも」.....	64
9.10	男女における「複合体どうも」の使用.....	65
9.11	用法別使用状況.....	66
9.12	職階関係に見る「複合体どうも」.....	69
9.13	結果の考察.....	71
9.14	全体考察.....	73
9.15	まとめ.....	74
10.	教科書調査.....	75
11	今後の課題.....	90
	〈参考文献〉.....	91

1. はじめに

比嘉 (1985) によれば、『「日本人社会では、あいさつができるようになるということと、一人前の社会人になるということは、直接に関連があるということになっている」「あいさつの動機は、「社交的になること」と「礼儀的になること」である』とのことである。すなわち、挨拶は人間関係において重要な役割を果たし、人間関係を良好にするための言葉で、コミュニケーションの入門的位置に置かれている。本研究でとりあげるテーマは、日常生活で頻繁に使われる言葉の「どうも」である。方・高(2004)では以下のように述べている。

日本人の日常会話には「どうも」という言葉がよく使われる。言い換えれば、この「どうも」という言葉ぐらい便利な日本語はないかもしれない。朝、誰かに会ったとき、「おはよう」の代わりに「どうも」である。夕方別れるときにも「さようなら」の代わりにまた「どうも」。お礼を言う時も「先日はどうも」、結婚式へ行っても「どうも〜」、葬式でも「どうも〜」と、どこへ行っても誰に会っても「どうも、どうも」ですませる日本人が多いようである。言わば、この「どうも」はいつでもどこでも誰に対しても使えそうな万能な言葉である (方懋・高鹏飞 2004 : pp. 152-153)。

この「どうも」は様々な場面で使われ、ある状況と条件に基づき、そのいずれを意味するかは異なるため、外国語にそのまま訳すことができない。そのような外国人にとって訳せない「どうも」の理解は難しい。したがって、日本語学習者はこの「どうも」について、誰が、誰に対して、どういう場面で、どういう状況でに使えばよいかを自信を持って理解しているとは言い難い。つまり、「どうも」は日本語学習者にとって、うまく使いこなすのが難しい言葉の一つと言える。

2. 研究背景

筆者自身、「どうも」を上手く使いこなすことが難しかった経験がある。その経験は日本へ来て最初のアルバイトとしてコンビニで働いた時のことであった。お客さんが買った商品の会計が終わった後、常に「どうも」という言葉が使われた。その際に、この「どうも」

はイコール「ありがとう」と認識していた。それで、私も日本人の真似をして、お店の店員や、友達、先生に「どうも」を使うなど、様々な場面で使うようになった。しかし、ある日、日本人の友達に「日本人の若い女性はそんな時、使わないよ」と指摘された。

このように、一つの言葉が、場面に応じて複数の意味で使われることに対して、日本語母語話者は深く考えることなくすぐに解釈することができる。一方、日本語学習者には即座の判断が難しいことがある。上記で述べたのは私の実体験であるが、私以外の日本語母語話者と日本語学習者はこの万能な言葉「どうも」についてどのように意識しているのかに関心を持った。そこで、筆者は 2017 年に、身近な大学生を対象に調査¹を行った。その結果、日本語学習者が「どうも」という言葉をうまく使えていないことが分かった。

このような、日本人からのインプットを多く受けている留学生であっても、日常会話における「どうも」の使用は親疎の区別が分からないため、目上や親しくない相手に対して言葉遣いを変えることができず、待遇的な問題が発生する可能性がある。このようなことから、この問題は、単なることばの問題に留まらず、相手に対して不愉快を与え、失礼に当たる可能性があり、人格を疑われ、人間関係を悪化させるにつながる事が考えられる。これは非母語話者にとっては、重要な問題である。

3. 先行研究

3.1 先行研究の検討

「どうも」に関して考察された主な先行研究としてここで三つ挙げる。どのような場面でも万能というように考えられている「どうも」であるが、先行研究では、状況によっては適切ではないと判断される場合もあることが報告されている。

正木 (1993) は日本人の大学生 190 名を対象に、アンケート調査を行った。結果として、目上の人のみならず、目下の者に対しても「どうも」は適切度が低いとされる。ほかにも、感謝の「どうも」はそれが相手の何らかの負担の上に成り立つ場合に感謝を伝えるための「どうも」や、自分に何らかの過失があった場合にお詫びを伝えるための「どうも」は適

¹ 劉 (2017) 大学の卒業論文で、日本語母語話者 82 名、日本語学習者 18 名、合計 100 名を対象に、「どうも」の使用意識について、アンケート調査と対面インタビューを行った。様々な場面における「感謝」を表す「どうも」の使い方について、双方がどう思うか、ピアソンのカイ二乗検定を用い、分析した結果は両者間に有意差が見られた。

切ではない。一方、役割行為（仕事としてそれをして当然であるところの行為を指す）に対しての場合と自分の側の喜びを表明する感謝系統の「どうも」は適切度が高い。そして、男性のほうが許容度が高い。また、同等（友人）の場合は、判断が分かれる。

于・劉(2017)はテレビドラマを利用して、あいさつ言葉とした「どうも」のフレーズを278例収集し、機能、代用実態、性別差、年齢差と対話双方の関係に基づいて分析をした結果を以下のようにまとめている。

- 1) あいさつ言葉とした「どうも」の機能として、使用例が多い順に、「出会いのあいさつ」、「お礼・感謝」、「お詫び・陳謝」、「感謝の返事」、「お別れのあいさつ」、「家を出入りする時のあいさつ」、「何か頼まれた時の返事」の7種類を持ち、意味的には多様化されている。
- 2) 会話の場面、実際の意味、発話者と発話対象の関係などの要素に基づき、テレビドラマのデータから「どうも」で代用できるあいさつ言葉は「こんにちは」、「ありがとう（ございます）」、「すみません」、「どういたしまして」、「失礼します」、「ただいま」、「こちらこそよろしく」など16類あると推定される。
- 3) 性別差では、発話者から見ると、男性の使用例はほぼ女性の3倍近くになっている。受話者から見ても、男性受話者が多かったが、女性受話者と比べると、発話者ほどの差がなかった。つまり、男性は女性より「どうも。」を愛用していて、相手の性別問わず発する傾向があると考えられる。
- 4) 年齢差では、発話者も受話者も二十代、三十代が圧倒的に多かったことが分かった。
- 5) 発話者と受話者の関係については、「どうも」は初対面の人、知り合い、親しい人にも使えるようである。使用例の多い順に、「知り合い」、「初対面の人」、「同僚」、「役割行為の双方」、「友達」、「家族」などである。一方で「目上の人」、「年上の人」等に対して使われていないようである。

また、住田(1993)では日本語のあいさつ言葉「どうも」について、主に、文表現の類型、談話上でのはたらき、待遇表現上の法則に注目し、女子大学生の内省をもとにした談話の記録と観察を通して考察を行った。結果として、「どうも」文は様々な機能を持つが、特に感謝や、ねぎらいや、陳謝などの気持ちを含みながらも表現を短縮し、簡略にして煩わしさ・ことごとしさを避ける役割を果たしている。それに、会話を「切り出し」「切り上げ」

「受け取り」等の目的として使われることが多い。また、感謝、陳謝等の意味で使用する場合、待遇の度合いが低いことが報告されている。

3.2 先行研究の共通点

先行研究の共通点は以下の通りである。「どうも」文には「感謝」、「ねぎらい」、「陳謝」等の意味合いが含まれ、義務の履行の際には積極的に用いられることである。また、「どうも」の許容度は女性より男性のほうが高い傾向を示す。(正木 1993, 住田 1993, 于・劉 2017)

3.3 先行研究の相違点

相違点としては以下である。待遇の違いによる適切度が異なり、住田（1993）の調査では「どうも」文は待遇の度合いが低い場合に使用されることが報告されている。これに対して、正木（1993）は目上の人のみならず、目下の者に対しても「どうも」は適切度が低いと述べている。また、お詫び、陳謝機能の有無の違いが挙げられる。正木（1993）と住田（1993）の調査では、お詫び系統の「どうも」は適切度が低いとなっているが、これに対して、于・劉（2017）は「どうも」が「お詫び・陳謝」の機能として積極的に使われていると報告した。

3.4 先行研究の問題点

正木（1993）と住田（1993）はアンケート調査とインタビューを行って多数のデータを収集し、「どうも」の使用実態の一部を明らかにした。しかし、対象者が大学生に限定されており、結果を一般化できるかどうか課題が残されている。

また、于・劉（2017）のテレビドラマを利用し、用例を抽出する調査も同様である。この手法は大量データの収集ができる反面、ドラマのあらすじや登場人物によって、収集した例に偏りがある可能性があり、この三つの先行研究の収集したデータはサンプリング範囲（年齢や限定的な使用場面）といった問題が考えられ、偏りのある資料であって、具体的な分析に備え、一般化できるデータの整備が整っていない。このことから、現実社会の場面において「どうも」についての使用実態の実証的な調査を行い、再検討をする必要が

ある。即ち、運用面における「どうも」の機能、語用論的観点からの使用条件、対人関係等との関わりの解明については、未だに明らかになっていないのが現状である。

管見の限り、「どうも」を扱った先行研究は極めて少ない。さらに、日本語教科書についての考察は見られない。日本語の教科書ではどのように「どうも」を日本語学習者に教えているか、その現状を知った上で日本語学習者により良い提示法を考えるべきであると考ええる。この点から、本研究は、今後の日本語教育を念頭に置いた言語研究に資することができるだろう。

4. 研究目的と研究意義

4.1 研究目的

本研究は言語コーパス調査を通じて、各年齢層、性別により、「どうも」の諸相を明らかにし、さらに、日本語学習者が用いられている日本語教科書を調査し問題点を明らかにする。日本語教育で「どうも」を扱う場合、接触場面や、機能、特徴、制約条件等をきちんと踏まえた上で日本語学習者に提案することを目的とする。

4.2 研究意義

日本語学習者は普段日常生活において耳にする言葉をそのままアウトプットする人が多いと思われる。施（2005）によると、「中国人留学生が日本語のあいさつ言語行動を真似して、はやく日本の社会に溶け込もうという心情の現れがある」という。（p. 250）また、日本に滞在する期間が長くなればなるほど、日本人らしく話したいと思う外国人は多いだろう。なぜかという、言葉がうまく操れないために単純な意見しか言えないことで、幼く見えたり教養がないように思われたりすることを避けるためである。よって、日本語学習者は上級になるにつれ、なるべく日本人が話す日本語に近い自然な日本語で自己表現を好む傾向がある。そのため、会話を円滑に進めるために、挨拶やコミュニケーションをとることが必要であれば、この頻繁に使われる「どうも」は学習項目の一つとして日本語教育できちんと取り上げるべきである。

この問題を考えるためには、まず日本語母語話者の使用実態を掴む必要がある。そこで、誰が誰に対して、いつ、どこで、どのような動機で、「どうも」を使うか、実証的な調査が

必要となる。そのようにすることで、「どうも」という表現を日本語学習者に教える場合、使用場面とともに提示することで、場面に応じてどのような意味を持つのか理解できる。そこから「どうも」についての効果的な指導法を解明するための示唆が得られるのではなかろうか。従って、日本社会において、「どうも」の使用場面や性別、年代別、使用相手など、使用実態を明らかにすることには意義があると言える。

5. 研究対象

言葉には、話し言葉と書き言葉のレベルの違いがあるが、本研究では話し言葉としての「どうも」について着目する。先行研究では、あいさつとしての「どうも」についての研究（住田 1993, 于・劉 2017, 正木 1993）が行われているが、本研究では、さらに先行研究を発展させ、様々な状況や人物の発話データベースである「話し言葉コーパス」を用い、あいさつの「どうも」に加え、話し言葉の「どうも」における様々な用法について扱う。

6. 研究方法

「どうも」の指導法を解明するために、手法としては、二つの方法により調査・分析を行なう。一つは、日本語母語話者の運用面から分析を行なう。日本語母語話者の「話し言葉コーパス」による調査を行い、先行研究を基に、日本語母語話者が使用する「どうも」の使用実態を明らかにする。もう一つは、日本語学習者の知識面から分析を行なう。日本語学習者が使用している教科書の用例を抽出し、今までの日本語教育において「どうも」はどのように扱われてきたかを明らかにする。そして、「話し言葉コーパス」調査で得られたデータに基づき、性別、年代別に使用実態と日本語教科書から抽出した「どうも」のデータを比較する。「話し言葉コーパス」の結果を日本語教材の結果と照合することにより、日本語母語話者の話す「どうも」の実態と日本語学習者の学習において扱われる「どうも」の差異を明らかにし、日本語学習者により良い「どうも」の指導法を提案する。

7. コーパス調査の概要—対象データと調査項目について

7.1 調査範囲

前述したように、本研究の分析対象は「どうも」である。そして、具体的なコミュニケ

ーション場面においてどのように使われていたか(誰が、誰に対して(どういう場面で、)、
どういう状況で、など) という言語運用論的な観点から分析を行う。このような問題意識
の中で、「どうも」という言葉に関する研究としてまず必要なことは、現実の日本社会にお
ける日本語母語話者の使用実態の把握であると考え。このようなアプローチで実態を捉
えるには、福島(1988)では、「どうも」は書き言葉より、「話し言葉で頻用されていること」
が明示しており、そこで、本研究は「話し言葉コーパス」を用いて調査する。「どうも」の
用法を網羅的、かつ分析的に先行研究を検討しながら考察を行う。本研究では、以下の手
順により、「どうも」を含む発話を抽出して分析していく。

7.2 調査の目的

日本語母語話者の「どうも」の使用に関しては、まず、職場で働く社会人を対象に、仕
事場では人間関係構築のため、相応しい言葉を選択すると考えられるので、仕事場におけ
る「どうも」の使用実態を調べる。先行研究では、話し言葉において、挨拶言葉として「ど
うも」の意味・機能、場面によって他の言葉と代用できるかという実態、性別差、年齢差
と対話双方の関係などの観点から分析を行った。「どうも」は談話の行われる場面がフォー
マルな場面(会議・打合せ・相談)か、インフォーマルな場面(雑談)かといった場面差、発
話者が男性か女性か、発話者の年代が 20 代、30 代、それとも 40 代かといった年齢差な
どの諸要因によって使用される。そこで、本研究は先行研究の結果をもとに、さらに、相
手の年齢が上か下かといった年齢関係、相手が目上か目下かといった職階関係、相手が親
しい間柄か親しくない間柄かといった親疎関係等に着目して、「どうも」の使用実態を調べ
ることを目的とする。具体的には、繰り返しになるが、発話者の性別・年齢・身分などの
属性を調べ、どのような場面、どのような意味で、どのような相手に対して「どうも」を
使用するのかマクロな視点で解析する。本研究では職場における「どうも」の使用実態に
ついて、以下の 3 点に焦点を当てて「どうも」の諸相を明らかにする。

- 1) 職場における「どうも」の出現形式と出現回数・出現率
- 2) 職場における「どうも」の場面・性・世代
- 3) 職場における「どうも」の発話者 1 と受話者 2 との関係

7.3 調査の対象

本研究では、現代日本語研究会(2011)の『合本 女性のことば・男性のことば(職場編)』の収集データを使用する。このコーパスは、「女性のことば」は1993年9月から11月にかけて、「男性のことば」は1999年10月から2000年12月にわたり、首都圏の有職者20代～50代を対象とし、勤務開始1時間、会議中1時間、休憩中1時間の職場での自然談話をレコーダーで録音したものから、それぞれ10分程度のまとまった談話を抽出し、文字起こししたものである。

このコーパスの主たる特徴はデータを「自然談話」に求めて、調査対象とする談話の場所を「職場」としたことである。職場では、会議や休憩の場面があり、様々な人々が多様な場面で触れ合って、そして、その場面の状況やフォーマル度によってふさわしい言葉遣いが選択される。さらに、談話データを「電子化した」点である。また、発話者や受話者の属性、発話者と受話者の関係、使用場面などを調べられるため、本研究の目的である「どうも」の使用実態を調べるためには、年齢、男女差、社会階層などの観点から、この同じ職場で働く男性・働く女性はもっとも相応しい母集団である。従って、このデータを活用すれば、職場における「どうも」の使用実態に関する新たな知見が得られると考えられる。

7.4 調査の方法

「どうも」には、様々な表記があるため、秀丸エディタの文字検索機能を用いて、各発話者と受話者のレコードから文字検索列に「ど」と入力して検索をかけ、用例を収集する。

「ど」を含むレコードから、「どうも」以外の表記を排除する。

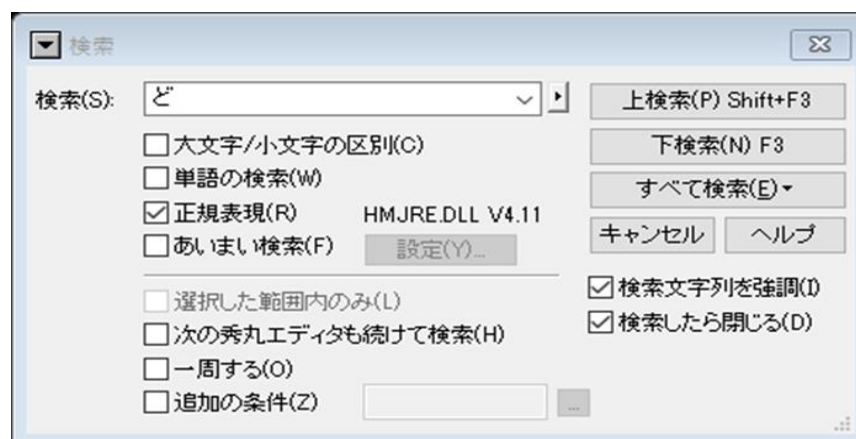


図1 秀丸エディタにおける「どうも」の検索方法

(1)「こっちまで来るバスあるんだけどー」「どう#####」「聞きたいんだけども」など例(1)のような「けど」「どう」「けれども」など分析対象にならないものも多く含まれている。そのため、手作業によるチェックをして分析対象にならないものを除外し、分析対象の「どうも」を抽出する。

7.5 データの処理

得られた談話資料は、基本的に1文を1レコード(=1行)とし、発話の進行に従ってレコードを積み重ねた。『男性のことば』は総レコード11099より、「場面転換などの説明」「@笑いのみ」「@咳払い」「@話切れる」などの不明・多数発話を除いた、合計10810レコードである。『女性のことば』は総レコード11421より、「@笑いのみ」「@くしゃみ」などの聞き取りができなかったレコード数を除いた、合計11075レコード数である。

データ処理として、『男性のことば』と『女性のことば』を合わせた合計レコード21885を本研究の分析対象とする。ただし、これから分析に当たって、談話者の「情報」が不明を含む場合があり、総レコード数とは一致しないこともある。

『合本 女性のことば・男性のことば(職場編)』におけるこれらのレコードに対して、「どうも」を抽出する。抽出する「はい、どうも」・「はいどうも」、「どうも、おはようございます」・「どうもおはようございます」のように、表記上の違いが読点「、」の有無の場合や「どーも」、「どうもー」など、音引きの位置が違う場合は、表記を揃えるために全部「どうも」と見なすことにする。

7.6 データの分析

データ分析は右頁図2の通り、まず、『合本 女性のことば・男性のことば(職場編)』の生のデータをエクセルデータに変える。エクセルのA・B・C・Dなどの欄にそれぞれの情報ラベルが付与される。例えば、「A」列は一文ごとに改行しているための行番号である。「B」列は会話文である。「C」列は発話者のIDである。「D」列は調査日である。「E」列は場面1、「F」列は場面2、「G」列は談話が行った場所、「H」は直前の話者との関係である。このように、会話の＜参加者＞に関する情報と会話の＜状況＞に関する情報をそれぞれの項目を付加した。それから、「どうも」の出現形式ごとに集計し、その後コーパス上の情報と筆者

が付与した「どうも」の用法の情報に基づいて分析する。

以上の情報から、『合本 女性のことば・男性のことば(職場編)』における女性発話の「どうも」と男性発話の「どうも」の用法が文脈における実際の意味、発話者の性別や年齢などの属性と発話の状況、発話者と受話者の関係などの要素によって、どのように異なるかを明らかにする。

各発話者で場面別発話件数にばらつきがあるため、ここでは、各人の出現率を数量的に比較し、全体数と各発話者の属性や使用場面や相手による使い分けの実態を把握し、待遇意識の観点から分析し考察する。

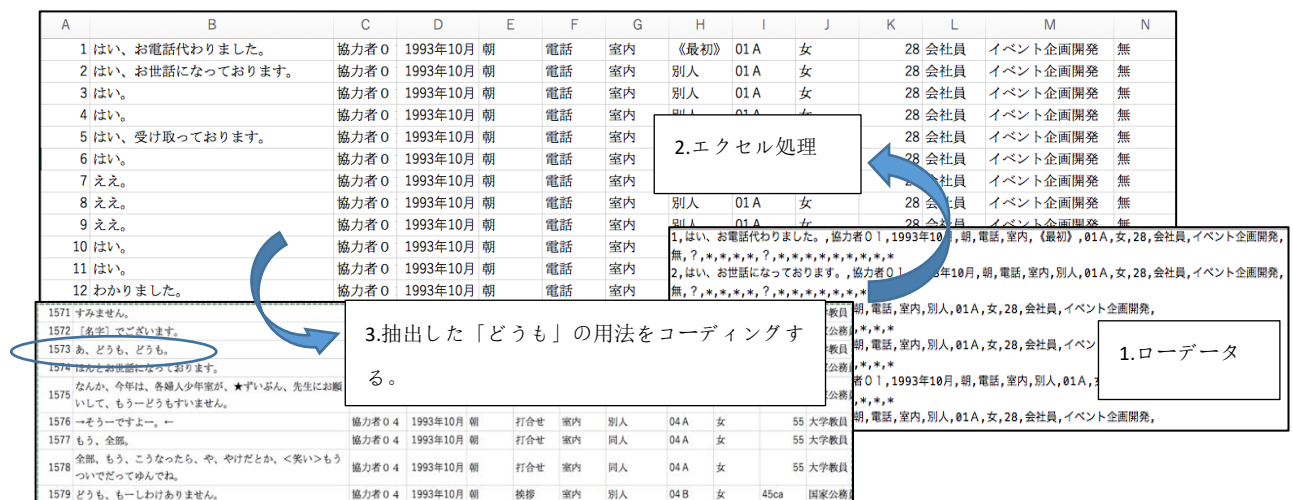


図2 データ分析の手順

7.7 調査の結果

『合本 女性のことば・男性のことば(職場編)』から、抽出した「どうも」の全体のデータは表1の通りである。出現形式はそのまま提示し、出現回数は多い順に並べてある。

また、検索して得られる単位は発話レコード数であるが、例えば、(2)のように、1レコードの中には複数の「どうも」を含む場合がある。

(2) あ、どうも、★どうもなんか、いろいろ。【14H・20f・会議】

その場合は用例ごとに採集する。つまり、「あ、どうも」1例、「どうもなんか、いろいろ」を1例として採る。

表1「どうも」の出現形式と出現回数

番号	出現形式	出現回数
1	どうもありがとうございます（ました）	11
2	どうもすいません（でした）	7
3	はい、どうも	7
4	どうもー／どうも	6
5	どうもお世話になっております （なってます）	4
6	きのうはどうもありがとうございます（ま した）	3
7	どうもご無沙汰しておりますー	2
8	あっどうも／あ、どうも	2
9	どうもさー	2
10	どうもねえ	1
11	どうもしかし	1
12	どうも苦手	1
13	どうもあの	1
14	どうもこのー	1
15	どうもなんか、いろいろ	1
16	どうもそれができてなかったみたい	1
17	どうも増えてないみたい	1
18	どうもすぐ決まらないようでしたら	1
19	どーも無理そう	1
20	どうも←その通りになりそう	1
21	どうも（兄）が、間に合いそうにない	1
22	どうもこうゆう小さいのって	1

23	どうもこう、勢いとしては	1
24	どうももーしわけありません	1
25	どうもお疲れさまでーす	1
26	どうもごくろーさまー	1
27	どうもお待たせいたしましたー	1
28	どうもお手数（てすう）かけました	1
29	どうも失礼しまーす	1
30	どうもはじめましてー	1
31	どうもこんにちわ	1
32	どうもおはようございます	1
33	毎度どうもー	1
34	先日はどうも	1
35	どうも [名字（15A）] です	1
36	あ、[名字] ですー、どうも	1
37	あ、どうも、どうも	1
	合計	72

調査の結果「どうも」は72例が得られて、そのうち、37個の形式が見られた。つまり、「どうも」という言葉には、用例のバリエーションが多いことがわかる。また、「どうもありがとうございます（ました）」は多用されている実態が観察できる。以下に職場で出現頻度の高い「どうも」の形式を第5位まで挙げておくと、「どうもありがとうございます（ました）」「どうもすみません（でした）」「はい、どうも」「どうもー／どうも」「どうもお世話になっております（なってます）」の順になっている。

なお、調査結果から分析対象にならないものを含む。以下(3)、(4)のような場合は分析対象外とする。

(3) 会社員 1:カラフルだなー。【13A・20f・休憩】

会社員 2:<笑い> [名字] ちゃん。<笑い> 【13B・20f・休憩】

会社員 1: どーも、じゃないの。【13A・20f・休憩】

会社員 3: なんてどうもじゃないのー。客よ、客。【13C・20f・休憩】

(4) 常務も関わってきて、常務から何度も、常務自宅にいらっしゃったんですけど、何度も何度も電話かかってきて、えっ、きょう出ているのかーとかいって、で、どうも、ごくろーさまーとかいって、[名字] ーくんに一とかいって、＜笑い＞タイも###。【11H・20f・休憩】

「どうも」の調査結果は72件であるが、例(3)、(4)のように、ある話者が他人の談話を引用している場合は、その引用文の元の話者の属性が明らかでないため、対象としない。

「職場編コーパス」のデータからはこの3例を考察の対象から省いた。即ち、69例が本研究の分析対象になる。

7.7.1 性別

前節調査目的のところと言及したように、発話者の属性・相手との関係・場面等は、「どうも」のどの表現形式を使用するかを決定になり得ると考えられるため、まず、同じ職場における働く男性と働く女性が同じく「どうも」を使っているのか、どの程度「どうも」が用いられているのかを調べる。

男女別に「どうも」がどの程度使用されているかを観察するために、それぞれの母集団を確定することが必要である。

話を単純にするために次のようなケースを挙げる。

例えば、談話資料において、男女それぞれ「どうも」を10回使用されたとする。しかし、男性のレコード数が1000で、女性のレコード数が100だとする。使用回数は同じだが、その使用頻度について、高いとか低いとか言えるだろうか。

従って、母数となるレコード数が異なるため、「どうも」の出現回数の多寡を比較することは意味を持たない。

数え方についてだが、ローデータをエクセルに処理した後に、文ごとに改行してある。その1文を1レコードとする。具体的に以下のように数える。

(5) 会社員 1: ま、確かにそうなんだけど、(うん Inf(女)) ツアーで行くと 3 泊 4 日が
20 万ぐらいとかいうのね。【02C・20m・休憩】

会社員 2: ほんとう。【02A・20m・休憩】

会社員 1: 自分で行ったらそんなにもかかかんない。【02C・20m・休憩】

会社員 2: んー。【02A・20m・休憩】

会社員 1: どうしようかなー。【02C・20m・休憩】

会社員 2: あー、そうなんだ。【02A・20m・休憩】

会社員 2: 手伝いみたいの、そうゆうのはだめ↑ 【02A・20m・休憩】

会社員 1 と会社員 2 が話している 1 文を 1 レコードとする。例(5)のように、(5)は 7 レコードで、長い文と「んー」みたいなフィラーや感動、言いさし等も含む。改行するかしないかの基準でレコード数を数える。また、ここで、延べ話者と異なり話者の数え方についても述べておく。「延べ話者」というのは同一人物であっても、独立した一文であれば一話者としてカウントしたものである。「異なり話者」というのは会話に参加する実際の話者数をカウントしたものである。従って、例(5)の延べ話者は 7 人であり、異なり話者は 2 人である。

また、表 2 の各々の数値の計算方法は以下の通りである。以下本研究では、数値計算の結果は小数点第二位を四捨五入して、小数点第一までを示す。

談話資料における男女比率(男) = (男性のレコード数 ÷ 談話資料全体のレコード数) × 100

談話資料における男女比率(女) = (女性のレコード数 ÷ 談話資料全体のレコード数) × 100

(異なり話者) 男女比率(男) = (男性の異なり人数 ÷ 男女合計の異なり人数) × 100

(異なり話者) 男女比率(女) = (女性の異なり人数 ÷ 男女合計の異なり人数) × 100

平均レコード数(男) = 男性のレコード数 ÷ 男性の異なり人数

平均レコード数(女) = 女性のレコード数 ÷ 女性の異なり人数

表 2 談話資料における男女比率（不明 31 例を除く）

	男	女	合計
談話資料全体のレコード数	10446	11601	22047
談話資料における男女比率（％）	47.4	52.6	100
談話資料全体の異なり話者数	123	55	178
（異なり話者）男女比率（％）	69.1	30.9	100
平均レコード数	84.9	210.9	123.9

男性の発話数は 10446 レコードである。女性の発話数は 11601 レコードである。男性と女性のレコード数は大体同じぐらいであると言ってよい。男性データに登場する発話者の属性不明を除いた。178 人が実際の異なり人数になる。そのうち、男性は 123 人(69.1%)であり、女性は 55 人(30.9%)である。男性の数は女性の数より 2 倍近く多くなっている。一方、平均レコード数を分析すると、男性の一人あたりは 84.9 に対する女性は 210.9 である。女性の一人あたりの発話数は男性の 2.5 倍近くになっており、女性の方が多く話していることが分かる。

次に、表 2 を基に、男女別における「どうも」の使用状況を観察する。（括弧内はその比率を表示する）表 3 の数値の算出方法は以下の通りである。

男女それぞれのレコード数に占める割合(男)＝「どうも」の出現回数(延べ)（男）÷男性のレコード数×100

男女それぞれのレコード数に占める割合(女)＝「どうも」の出現回数(延べ)（女）÷女性のレコード数×100

男女それぞれの異なり話者数に占める割合(男)＝「どうも」を使う異なり人数(男)÷談話全体の男性の異なり人数

男女それぞれの異なり話者数に占める割合(女)＝「どうも」を使う異なり人数(女)÷談話全体の女性の異なり人数

表3 男女別による「どうも」の使用率

	男	女	合計
「どうも」の出現回数(延べ)	28	42	70
男女それぞれのレコード数に占める割合	(0.27)	(0.36)	(0.63)
「どうもの出現回数(異なり)	23	27	50
男女それぞれの異なり話者数に占める割合	(18.7)	(49.1)	(67.8)

談話全体の男性は10446レコード中、「どうも」が28回使っており、平均1000回のレコードに2.3回「どうも」が使われることになる。男性の異なり人数を見ると、23人で、18.7%であり、約1/5の人が「どうも」を使う。これに対して、母集団女性の発話数は11601レコード中、「どうも」が42回使われ、平均1000回の会話に3.4回「どうも」が使われることになる。女性の異なり人数は27人で、約1/2、約半分の女性が「どうも」を使う。女性が少なからず使用していることがわかる。出現回数・異なり人数いずれについても、全体に占める割合は女性が男性より「どうも」を使う比率が高いことを示している。先行研究とは異なる結果となっている。

しかし、それは職場において、かなりの女性は実際には「どうも」を使って、男女差があると言えるのではないかと考えられる。これは表2で言及したように、女性の一人当たりのレコード数が男性より多いことである。「どうも」の使用頻度において、男女差が見られたのではないかと考えられる。そこで、男女差があるかと言うために、具体的にどこが違うか、さらに、年齢・場面や構成メンバーの役割など、細部の要因を検討しなければならない。

7.7.2 年齢

次に、同様職場で、現代の日本語における「どうも」の使用は年齢による変動があるかどうか、年代の全体像を見る必要がある。「どうも」の使用年代と使用率を一覧表にしてみる。ただし、今回のデータには、年齢不詳51件があり、本分析に該当しないので、除外する。

また、年齢の考察に関しては、性別のところで、述べたような方法で、男女のレコード数のアンバランス、及び世代の発話数の偏り等の制約を見なければならない。なお、Aは

横の比率、Bは縦の比率を示す。Cは縦の比率を示す。

表 4 年代別レコード数

年代	0～9	10	20	30	40	50	60	70	合計
各年代 におけ るレコ ード数 (%)	A 13 (0.1)	60 (0.3)	6029 (27.6)	6312 (28.9)	5106 (23.4)	3686 (16.9)	570 (2.6)	94 (0.4)	21866 (100)
男性 レコー ード数 (%)	B 1 (7.7)	50 (83.3)	2022 (33.5)	3066 (48.6)	2510 (49.2)	1886 (51.2)	541 (94.9)	94 (100)	10170 (46.5)
女性 レコー ード数 (%)	C 12 (92.3)	10 (16.7)	4007 (66.5)	3246 (51.4)	2596 (50.8)	1800 (48.8)	29 (5.1)		11700 (53.5)

分かりやすいように、表 4 をグラフ化する。

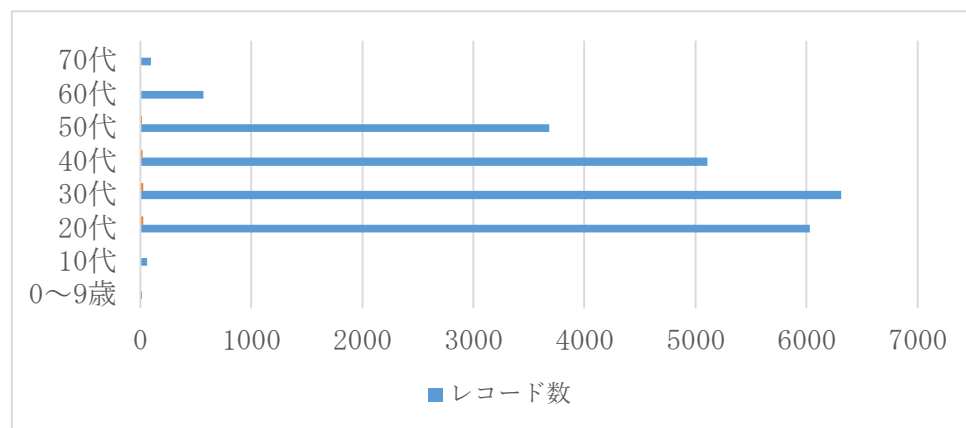


図 3 各年代におけるレコード数

表 4 と図 3 を合わせて見ると、10 歳以下、10 代、70 代の発話数が非常に少なく、他の世代と差が大きいことが明らかである。その次に、レコード数が少ないのは 60 代である。レコード数がもっとも多いのは 20 代と 30 代である。40、50 代男女別のレコード数は同じ

ぐらいになっている。各世代のレコード数に差があることが分かる。

では、談話資料における異なりの人数がどうなっているかを見てみる。

表 5 中の各数値の計算方法をここで述べる。

談話全体に対する割合＝(談話各構成人数÷合計人数)×100

表 5 談話資料における全体発話者の内訳

年齢（代）	0～9	10	20	30	40	50	60	70	合計
談話全体	3	4	43	47	43	29	9	3	178
異なり人数 (%)	(1.7)	(2.2)	(24.2)	(26.4)	(24.2)	(16.3)	(5.1)	(1.7)	(100)
各世代における 男性の異なり人数 (%)	1 (33.3)	2 (50.0)	22 (51.1)	31 (66.0)	33 (76.7)	25 (86.2)	7 (77.8)	3 (100.0)	123 (69.1)
各世代における 女性の異なり人数 (%)	2 (66.7)	2 (50.0)	21 (48.8)	16 (34.0)	10 (23.2)	4 (13.8)	2 (22.2)	0	55 (30.9)

(%は全体に対する割合を示す)

各年代において男女別の異なり人数を見ると、30～70 代まで男性の異なり人数は女性よりずっと多い。30 代は約 2 倍、40 代は 3 倍以上、50 代は 6 倍以上の男性は女性より多くなっている。男女別のレコード数に偏りが見られる。

表 4、5 をもとに、各世代における「どうも」の使用状況を観察する。世代別実数と比率を示したのが、表 6 である。(不明 51 例を除いて計算したもの) 表 6 の各数値の計算方法を示す。

各世代における「どうも」を使う男性比率＝

(異なり男性が使う「どうも」の出現回数÷各世代における男性の異なり人数)×100

各世代における「どうも」を使う女性比率＝

(異なり女性が使う「どうも」の出現回数÷各世代における女性の異なり人数)×100

表 6 世代別の「どうも」の使用状況

年齢(代)	0～9	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
男性の各世代における 「どうも」の出現回数	0	5	10	2	1	1	0	19
割合 (%)	0	22.7	32.3	6.1	4.0	14.3	0	15.4
女性の各世代における 「どうも」の出現回数	0	6	7	9	3	0	0	25
割合 (%)	0	28.6	43.8	90.0	75.0	0	0	45.5

表 6 では、「どうも」が使われる回数は多いとは言えないが、20 代から 60 代にわたっている。一方、10 歳以下、10 代、70 代の男女とも「どうも」を使う人は皆無であった。10 歳以下、10 代、70 代は発話者とレコード数が非常に少ないためと考えられる。また、使用回数について、女性の「どうも」の使用は男性より多いのが分かる。特に 40 代女性の使用頻度が最も高く、発話 5106 レコード数の中で 14 回「どうも」が使われ、使用頻度は上位にある。

7.7.3 場面

次に、「どうも」が現れる場面状況について検証する。表 7 は『合本 女性のことば・男性のことば(職場編)』において、発話者に現れた「どうも」の場面別出現状況を示したものである。談話資料における場面の設定に関して「場面 1」と「場面 2」の項目がある。「場面 1」は録音をとった場面で、「朝」「休憩」「会議」として、大きく場面が分かれている。この中には、フォーマル、インフォーマルいずれの談話も含まれる。場面 2 は談話の場面で、具体的な情報が入っている。ここでは、フォーマルかインフォーマルを課題である。なお、場面 1 の休憩、場面 2 の打合せ場面では男性か女性が性別不明 1 レコードがあった。

また、出現比率はある場面のレコード数÷その場面での「どうも」の出現回数×100 で算出した。

表7 「どうも」の場面別出現状況²

場面 1	場面 2	出現回数 (%)	レコード数
朝	挨拶	5 (41.7)	12
	応対	5 (1.6)	316
	電話	15 (3.9)	383
	相談	3 (0.5)	596
	打合せ	1 (0.1)	1555
	雑談	4 (0.1)	3300
会議	挨拶	1 (1.9)	52
	報告	1 (0.2)	584
	電話	3 (0.1)	2136
	小会議	3 (0.3)	1102
	打合せ	10 (5.1)	197
	雑談	1 (0.2)	503
休憩	挨拶	2 (9.5)	21
	電話	3 (2.6)	117
	打合せ	1 (0.1)	1633
	雑談	11 (0.2)	7156

ここでわかることは、場面1「朝」は「会議」や「休憩」より「どうも」という言葉が多く使われている。場面2の項目に従い、場面別では、電話21例、雑談16例、打合せ12例、に多い。また、発話のレコード数・比率から見ると「どうも」は朝の挨拶の場面でレコード数12であり、「どうも」が5回も使われ、41.7%を示しているということは、職場における朝の出会いの挨拶や朝礼などで「どうも」がかなりよく使われていると言える。即ち、時によって「どうも」の使い分けをしている様子は伺われる。また、最も頻度が高いのは電話の場面である。割合は3.9%である。即ち、営業関係の仕事をしている人で、客との応対上の対応が「どうも」が用いる傾向がある。

² 場面2の相談(仕事)を「相談」、電話(挨拶)、電話(打合せ)、電話(雑談)、取引先との電話折衝を「電話」、客との応対やブロー中の応答、応対(説明)を「応対」、研究室会議、小会議を「小会議」、昼食時の雑談、休憩時雑談、雑談を「雑談」にまとめた。

また、「場面 2」の項目ではその内容により、「挨拶」「応対」「電話」「相談」「打合せ」「雑談」「報告」「小会議」と具体的に細分化されている。「会議」の場面でも途中から「雑談」に移ることもあり、「休憩」の場面でも途中から会議のような「打合せ」に移ることもあるからである。この混在を修正するため、「場面 1」の内容に基づき、「仕事関係」と「仕事以外」に分類する。分類の基準としては「朝」「会議」を「仕事関係」、「雑談」を「仕事以外」に分類する。また、仕事中に挿入された雑談については、データベースでは原則的に「雑談」と区分しているため、これを仕事以外の場面にまとめる。割合は(レコード数÷出現回数)×100 である。

表 8 仕事場面と仕事以外の場面における「どうも」の使用割合の比較

場面	出現回数	レコード数	割合(%)
仕事関係	52	10736	0.48
仕事以外	17	8927	0.19

使用場面では、仕事関係の場面のもの 52 例と、仕事以外の場面のものが 17 例である。全体の比率も仕事関係の場面が高い比率を示している。仕事以外にも「どうも」は使われるが、仕事関係に使われている比率が比較的に多くなっている。つまり、「どうも」が仕事以外の場面より、仕事の場面でよく用いる傾向があり、談話場面のフォーマル度と関係を持つようである。

7.7.4 場面における男女別出現実態

「7.7.4」の分析から「どうも」の使用は男女で使い分けているようである。では、場面と性差に関連性があるか否かを考察する。

表 9 場面に男女別出現状況

場面	男性	女性	合計
挨拶	3	9	12
打合せ	8	13	21
雑談	8	10	19
相談	1	2	3
応対	5	0	5
小会議	1	2	3
電話	1	4	5
報告	1	0	1
合計	28	40	68

まず、談話資料における女性発話は 11601 レコードで、男性発話は 10446 レコードであり、同じぐらいの発話数を基に、場面別の出現回数をみると、雑談の場面では男女とも用いるが、女性が男性に比べて挨拶や打合せにおける「どうも」の使用回数が高い傾向が見られた。その一方で、応対や報告といった場面では、男性のほうが女性より使用回数が大きかった。表 9 から男女によって場面に応じた「どうも」の使われ方についての傾向が異なるかもしれない。

また、表 8 のような方法で、「仕事関係」か「仕事以外」かのものを分ける。「仕事関係」には、前節で述べた場面 1 の朝と会議を合わせた。「仕事以外」には、休憩の場面である。

表 10 「どうも」の場面によって男女別出現状況

場面	女性／比率	男性／比率
仕事関係	32 (80)	20 (71)
仕事以外	8 (20)	8 (29)
合計	40 (100)	28 (100)

「どうも」の使用は男女とも仕事関係の場面に多く出現するという調査結果が得られた。言い換えると、「どうも」は男女とも仕事が話題になっている際に、「どうも」が現れやすい傾向がある。すなわち、職場では、比較的フォーマルな会話に「どうも」が用いられ

ていることが察せられる。

7.7.5 相手との関係

「どうも」の発話者が相手を、自分との関係においてどのように捉え、それを「どうも」のどのような形式に反映しているかという点を見る。

表 11 発話者と相手との関係の分析の根拠

性別関係	年齢関係	職場関係 1	親疎関係
同	下	出入業者	親
異	上	子供の担任	親親
	下下	委員会の仕事	疎
	上上	元同僚	疎
	同	同僚	普通

談話資料において、「性別関係」「年齢関係」「職場関係」「親疎関係」のラベルが貼ってある。これらの情報をもとに、採集した「どうも」の発話者と相手はどのような関係を持つかを判断して分析を行う。表 12 のように示す。相互関係の項目については遠藤・尾崎(2011)を参照する。「性別関係」は同性か異性かの情報である。

「年齢関係」は、発話者と受話者との年齢の上下関係であり、発話者を基準にして「上上」(+20 歳以上)、「上」(+5～+19 歳)、「同」(+4～-4 歳)、「下」(-5～-19 歳)、「下下」(-20 歳以上)、の 5 つのカテゴリーに分ける。「職場関係」は同僚か顧客かといったような比較的大まかな関係である。「無」は職場以外の顧客を指す。「親疎関係」は「親親」「親」「普通」「疎」「疎疎」という 5 つのカテゴリーに分ける。

表 12 発話の相手情報(不明を除く)

形式	性別関係	年齢関係	職場関係	親疎関係
あ、どうも、どうも	同	下	委員会の仕事	
あっどうも		上	同僚	親
あ、どうも	異	上	無	疎疎

先日はどうも	異	下下	元同僚	親
きのうはどうもありがとうございます（ました）	異 2	同上 2	顧客(仕入先) 同僚 3	親 2 親親 2
毎度どうも	異	下下		
どうも	同 2	同上 2	子供の担任 同僚 2	普通 3
はい、どうも	異 2 同 3	同上 3	出入り業者 無 同僚 3	疎疎 3 普通 3
どうもお手数（てすう）かけました	異	同	同僚	普通 1
どうも一しわけありません	同	上	委員会の仕事	
どうもこう、勢いとしては	同	下	同僚	親親
どうもなんか、いろいろ	異	上	無	疎疎
どうもこの一		下下	同僚	親
どうもあの、各自ばらばらなんですよね	異	同	同僚	普通
どうもしかし	異	下下	元同僚	親
どうもさー	同 2	同 2	同僚	親親
どうもご無沙汰しております	同	上上 2		
どうもお世話になっております（なつてま	同 2	上下	取引先 取材相手	疎疎 2

す)				
どうもすいません (でした)	異 同 4	同 上 2 下 2	委員会の仕事 取引先 取材相手 同僚 2	普通 親親 疎疎 2
どうもありがとうございます (ました)	異 4	下 2 同 3	無 利用者 同僚 2 顧客(仕入先) 2	疎疎 親 2 普通 2

表 12 からは、「どうも」は発話の相手が男性であるか女性であるかということは形式によって関係があるようだ。例えば、「どうもありがとうございます(ました)は全部異性に用いられる。相手の年齢については、15 例は年長者から年下に、12 例は同年齢、12 例は年下から年長に向かって使われている。つまり、年齢関係に関係なく、用いることが分かる。職場関係において、仕事関係のような間柄でもっとも多く、仕事関係だけでなく、私的な関係も用いる。また、親疎関係も「親」は 13 例、「普通」は 11 例、「疎」は 12 例であり、「どうも」は全般的に用いられている。

7.7.6 「どうも」の使われ方

『合本 女性のことば・男性のことば(職場編)』において、全発話のレコード数は 22520 である。このうち、属性不明は 473 レコードで、これらを除いて、女性発話のレコード数は 11601、男性発話のレコード数は 10446、合計 22047 のレコードが分析データである。以上、発話者の属性、場面、相手との関係から「どうも」の使われ方をみてきたが、ここで、「どうも」の使用回数について発話者の属性(性別・年代)別にまとめたものを 13 に表す。なお、10 歳以下、10 代、70 代に「どうも」の使用がみられないため、話者総数から除く。説明の前に、各数値の出し方を明示する。

「どうも」使用者比率＝(異なり話者数÷話者総数)×100

出現頻度＝レコード数÷「どうも」の出現回数(延べ)

表 13 「どうも」を使う人数

	20 代		30 代		40 代		50 代		60 代		計
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	
話者総数 (異なり)	21	22	16	31	10	33	4	25	2	7	171
「どうも」 の 出現回数 (延べ)	13	7	9	9	14	4	3	4		4	67
「どうも」 の 発話者数 (異なり)	7	6	7	8	10	4	3	3		2	50
「どうも」 使用者比率	33.3	27.3	43.8	25.8	100	12.1	75	12		28.6	29.2
出現頻度	308	289	361	341	185	628	600	472		135	326

この表 13 から分かることは、異なり話者総数 171 人の中で、「どうも」を使用する人は 50 人であり、使用する人とならない人の割合は、29.2% : 70.8% で、使用しない人が全体の約 2/3 である。つまり、職場で「どうも」を使う人は 1/3 ということになる。

「どうも」の使用頻度から観察すると、60 代の男性が最も高く、135 発話につき 1 回「どうも」が現れる。一方、60 代女性の使用が見られなかった。その次に、40 代の女性は「どうも」の使用が目立つ。談話資料において、10 人が現れることに対して、「どうも」が 14 回使われ、さらに、「どうも」を使う異なり話者からみると全員が使っていることが分かる。ここで、40 代の女性は「どうも」を使用する率が高い。これに対し、男性の異なり話者は女性より多いにもかかわらず、使用頻度は 628:185 であり、3.4 倍である。40 代女性と比較すると、40 代男性の使用回数が少なく、使用頻度が低い。職場の談話資料において、男女差が見られないのは 20、30 代である。

「どうも」をよく使用される順に並べると、60 代男性、40 代女性、20 代男性、20 代女

性、30代男性、30代女性、50代男性、50代女性、40代男性、60代女性の順になっている。また、出現頻度から見ると、同性同士では、60代の男性はよく「どうも」を用いることに対して、40代の男性はあまり使われない。40代の女性は頻繁に「どうも」を用いることに対して、60代女性の使用が見られない。

7.7.7 まとめ

話し言葉コーパスの『合本 女性のことば・男性のことば(職場編)』を用い、場面差、性差、世代差、相手との関係等の視点から以下の実態が観察される。

まず、性別では、全体から見ると、男性より女性のほうが「どうも」を使う人の率が高い。特に、40代の女性は使用頻度が高い。しかし、60代の女性は「どうも」の使用が見られず、つまり、年代によって、その女性も、使用する人と、しない人とは差がある。

次に、場面差については、男女とも比較的に仕事関係の場面に多く用いる。だが、女性が「挨拶」「打合せ」「相談」「小会議」「電話」等の場面で使われるのに対し、「男性」は「応対」「報告」の場面で使われる。場面別に男女が使い分けている。

さらに、相手との関係に関しては、仕事関係から私的な交際まで、「親親」「疎疎」まで一般的に用いる。だが、相手との関係によって形式が選択されるようである。

8. 単体どうも

前章、「どうも」の出現状況について、発話者の属性、場面、相手との関係を見てきた。ここで、さらに、その実態の内容分析を行う。「どうも」の後に続きの表現があるかないかによって分けて分析する。後ろに続きがない「どうも」だけの場合は「単体どうも」、後ろに続きがあり、なんらかの形が併用される「どうも…」を「複合体どうも」とし、分けてそれぞれ分析する。分析対象を分ける理由は、第一章で言及したように、先行研究の結果を再検討する必要があり、例えば、住田（1993）がお詫びの場面において、電車で、他人の足を踏んだ時、「あっ どうも」と発言した場面を取り上げているが、これは瞬時に詫びるものであって、「陳謝の意を表す部分が省略されているが、時間的に緊張したもので、待遇上の上下には関係なく、失礼な表現とはならない。」という記述がある。ところが、実際の日常会話場面では、上記の「単体どうも」では不適切な場面があると考えられる。

この際、謝罪をすべきところでは、「単体どうも」を言うのではなく、おそらく普通は、軽く頭を下げて「どうもすみません」と言うのだろう。つまり、現実社会における「どうも」の使用実態は先行研究の結果とは異なることが予想される。また、施（2005）によると、『「どうも」の後に来る言葉の如何によって自在に意味が変わるので、「どうも」だけではその後にどんな意味が省略されているのか、母語話者は見当をつけられるが、留学生にとってはなかなか見当をつけにくいのである』と指摘している。そのため、同じ「どうも」という言葉の中で謝罪、感謝を表すのに「複合体どうも」（「どうもすみません」「どうもありがとうございます」）と「単体どうも」が使い分けられている現状について、会話の丁寧さとのかわりや対人関係における上下関係などという視点から、この両語（「単体どうも」と「複合体どうも」）の間に丁寧さの差があるかどうかを談話資料から得られた両者の例から差の有無を確かめてみる。「単体どうも」「複合体どうも」の自然談話におけるそれぞれの使用実態を見、両形式が現れる場面と言語環境について分析・考察を行う。例えば、以下の例(6)と(7)の「どうも」では挨拶として意味は同一であるが待遇度が異なる。

(6) あ、[名字] ですー、どうも。【16B・30f・電話】

(7) あ、どうもいつもお世話になってます。【05A・40f・挨拶】

こうした例から分かるように、「単体どうも」と「複合体どうも」が話し言葉で使われた場合、どのような様相を示すかを探してみたい。

さらに、以下の項目に焦点を当てて分析を進んでいく。

仮説1 職場における「単体どうも」の使用は職階関係によって、異なるのか。

仮説2 職場において、異なる用法によって、使用実態がどうなっているのか。

仮説2-1「単体どうも」は様々な用法を持つが、「感謝」の用法において、どのように使用されているのか、多く使用されているのか。

仮説2-2「お詫び」の用法において、単体「どうも」は使用されているか。使用される場合、どのように使用されるか。

仮説2-3「感謝」と「お詫び」の用法のほか、どのような用法があるか、どのように使用されているか。

仮説3 性別によって、単体「どうも」の使用は異なるのか。

仮説4 年代によって、単体「どうも」の使用は異なるのか。

正木(1992)では、受話者によって「どうも」の使用は制約があると指摘されている。目上の人のみならず、目下の人でも「どうも」の使用は適切ではない。そして、場面によって、同じ「感謝」と「お詫び」の意味を表すのに適切と不適切な場合がある。さらに、男性は女性より多く使用することが報告される。そこで、本研究は正木(1992)を基に、職場関係においては、「どうも」の使用はどうなっているかを明らかにするため、仮説1を設けた。

また、正木(1992)において、「どうも」は異なる場面によって、使用の適切度が異なると主張している。「感謝」の用法は自分側の喜びを表明する際に、使用の適切度が高いと低い場合がある。「お詫び」の用法は使用の適切度が低いという結論である。本研究は、『合本 女性のことば・男性のことば(職場編)』を用いて、「単体どうも」の用法の使用を調査し、正木(1992)の結論を検証するため、仮説2-1と2-2を立てた。さらに、先行研究于・劉(2017)において、「どうも」の用法には「感謝」と「お詫び」のほか、「挨拶」「返事」等の用法もあるため、本研究において、職場という特定場面に、「単体どうも」が「感謝」と「お詫び」以外に、他の用法はどのように使用されているかを明らかにするため、仮説2-3を設けた。

そして、于・劉(2017)において、性別の違いと年齢の違いによって「どうも」の使用が影響され、男性は女性より「どうも」を多用され、二十代と三十代が多用される傾向が見られると報告している。そのため、本研究は仮説3と仮説4を立て、性別の違い、年齢の違いによる「どうも」の使用実態の違いも明らかにする。

さらに、本研究の調査対象『合本 女性のことば・男性のことば(職場編)』の付加情報の利点を生かし、発話者と受話者との年齢関係や親疎関係等に焦点を当て、「どうも」の使用実態を探る。職場はより人間関係を重視する場であるため、有益な示唆が得られると予測される。

8.1 「単体どうも」の出現状況

談話資料において「単体どうも」は数量的にどのように出現しているのだろうか。「単体どうも」の出現状況を表14に示す。なお、「どうも、どうも」2回重複する場合は「単体どうも」である。

表 14 「単体どうも」の出現形式と出現数

番号	「単体どうも」形式	出現回数
1	あ、どうも、どうも	1
2	あ、[名字] ですー、どうも	1
3	先日はどうも	1
4	毎度どうも	1
5	あっどうも	2
6	どうも	4
7	はいどうも	7

表 14 からは話し言葉のデータにおいて、「はい、どうも」の形式が優勢であること、その次に、「どうも」の形式が優勢である。日本語母語話者は「はい、どうも」と単独で「どうも」という形式の使用頻度が上位を占めており、日常会話において、多用されていることがわかる。一方、「あ、どうも、どうも」「あ、[名字] ですー、どうも」「あっどうも」「先日はどうも」「毎度どうも」の使用数は多くない。職場で使用される「単体どうも」の形式を出現回数の多い順にみると、「はい、どうも」が 7 件、「どうも」が 4 件、「あっどうも」が 2 件、「毎度どうも」、「先日はどうも」、「あ、[名字] ですー、どうも」、「あ、どうも、どうも」の形はそれぞれ 1 件である。では、この比較的多用される「はいどうも」、「どうも」、及び他の形式を持つ「単体どうも」は会話文において、同じ意味で使われるのだろうか、それとも違う意味で使われるのだろうか。ここからは、それぞれはどのような用法で使われるかを検討する。

8.2 用法別に見る「単体どうも」

『合本 女性のことば・男性のことば(職場編)』で見られた「単体どうも」の用法をみるにあたり、先行研究(正木(1992); 于・劉 (2017)等を参考にしたが、今回の調査データには、こうした文献で用いられていた用法以外のものも含まれている。そのため、新たに「どうも」の意味について分類を行う。先行研究と辞書に基づきながら、筆者自身が、会話の文脈・会話の場面・実際の意味・発話者と受話者の関係などの要素により、「単体どうも」

について、分類基準と分類項目の概要を整理する。【】内は発話者コード・年齢層・場面の順である。発話者と受話者との関係は7章で紹介したように、コーパスの付加情報に基づく。また、以下の例は、受話者との関係は「どうも」の発話者の立場である。

1. **出合いの挨拶**：出合いの場面で、先に声をかけるほうにも、声掛けに応じるほうにも用いられる挨拶。また、実際に人と人が出会ってなくても、電話の場面等で最初のやり取りとして会話の始まりに用いられる挨拶。

(8). 国家公務員：[名字] でございます。 【04B・40 f・挨拶】

大学教員： あ、どうも、どうも。 【04A・50 f・挨拶】

国家公務員： ほんとお世話になっております。 【04B・40 f・挨拶】

例(8)は職業「国家公務員」役職「課長」である「04B」と職業「大学教員」役職「教授」「04A」との「朝」の「挨拶」である。相手との親疎関係が不明だが、年齢は下、同性、職階が「無」という関係から、「あつ、どうもどうも」の形式を使い、「どうもこんにちは」の省略と考えられるため、出合いの挨拶と判断する。

(9). 会社員：もしもし。【16B・30 f・電話】

会社員：あ、[名字] ですー、どうも。【16B・30 f・電話】

例(9)の職業「雑誌編集」、役職が「副編集長」である「16B」は電話場面の会話文である。相手の会話が録音されていないため詳細なやり取りは不明だが、この文章は最初のやり取りにおいて、会話の始まりに用いる挨拶で、「どうもこんにちは」の省略であると考えられる。

このように、直接に出会う場面と電話において、会話の始まりに用いる挨拶の性質は一致しているため、こうした使用方法是出合いの挨拶に分類する。

2. 感謝

ありがたく感じて自分の側の喜びを表明するお礼。

(10). 元同僚：いやいや、先日はどうも。【09 J・60m・挨拶】

地方公務員(高校教員)：いや、こちらこそ。【09A・30 f・挨拶】

例(10)において、「09J」の職業が不明だが、相手との年齢関係は「下下」、「異性」、職階が「無」であり、親しい関係であることから、「先日はどうも」の形式が用いられている。この場合では、前回の二人の間で起こったことに対して、有難く感じて再び言及する再度の感謝を表明しており、「どうもありがとうございました」の省略であると考えられる。

(11). 購買課次長：あつ、毎度どうも一。【13G・50m・取引先との電話折衝】

購買課次長：あの一、[社名]の[名字]と申します。

【13G・50m・取引先との電話折衝】

例(11)では、職業が「会社員」、役職が「経理事務」である「13G」が「取引先との電話折衝」の場面で、相手との年齢関係は「下下」、異性に対して、「毎度どうも」を使っている。これは、電話場面での最初のやり取りであり、出会いの挨拶の範疇に分類できそうだが、これは「毎度どうもありがとうございます」の省略であると考えられるため、「感謝」の領域に分類する。

(12). 大学事務員：よろしいですか↑【14H・20 f・打合せ】

大学事務員：はい、どうも。＜間＞【14H・20 f・打合せ】

「14H」の職業は「公務員」、役職「大学事務員」である。会議の場面で、職業は不動産業、年齢関係は「上」、職階が「無」で、親疎関係は「疎疎」である異性の相手に同意を求めようとしている。それに対して、相手が答えてくれたことに感謝していると考えられる。

3. お詫び

自分に何らかの過失があったことに詫びる。

(13). 薬剤師：ちょっとお待ちください。＜ドアの音＞【01D・30m・客との応対】

薬剤師：はいどうも。【01D・30m・客との応対】

例(13)の職業は「薬剤師」である「01D」が客との応対の場面で、年齢関係は「下」、親疎関係は「普通」である。また、＜ドアの音＞から誰かがノックされていることが反映される。待ってもらった後に、「はい、どうもお待たせしました」の「お待たせしました」を省略して謝っている場面である。

4. 別れの挨拶

別れる場面で、会話の終わりに、交わす礼儀的な言葉。

(14). 小学校教員：じゃあ。【08A・50 f・挨拶】

担当児の母（会社役員）：どうも。【08G・40 f・挨拶】

例(14)では、「08A」の小学校教員が、保護者集まりの会議での終わりに、担当児の母、職業は会社の役員に「じゃあ」と挨拶しているに対して、担当児の母が「どうも、また」の意味で「また」を省略して、「どうも」が使用された場面である。

8.3 「単体どうも」の用法分類

用法の定義に基づき、談話資料において、「単体どうも」がどのような用法で使われるかをコーディングした結果を図4に示す。なお、会話に同じ話者が2度以上現れてもそれぞれの用法が異なる場合、例数としては複数で数える。例えば以下のようなケースである。

(15) 大学事務員：＜笑い＞あ、どうも、★どうもなんか、いろいろ。

【14H・20 f・打合せ】

例(15)では、大学事務員「14H」は一つの文の中に、「どうも」を2回使用しているが、用法はそれぞれ違うため、別々の用法として数える。「あ、どうも」は一つの用法として数えるが、「どうもなんか、いろいろ」は「単体どうも」の定義に入らないためカウントしない。

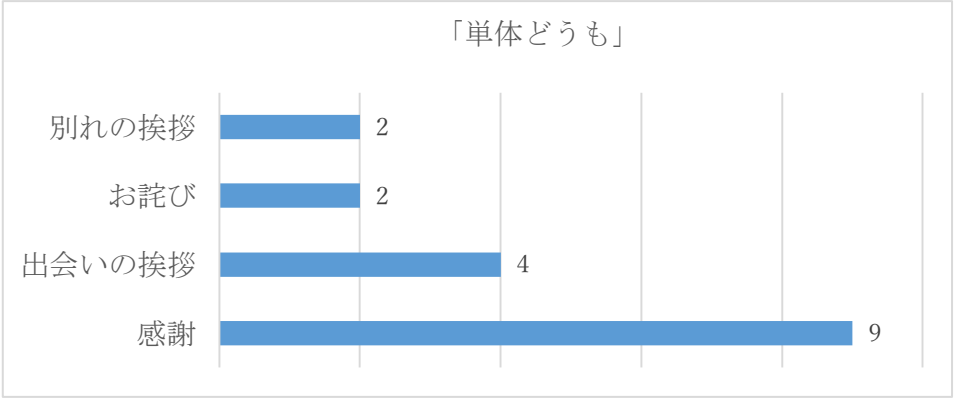


図4 「単体どうも」の用法

図4に示す通り、「単体どうも」の基本的な用法は「感謝」であり、使用回数最も多く、17例ある「単体どうも」の中での9例を占め、かなりの高い使用率である。これは話し言葉における「単体どうも」の主な用法が「感謝」であることを表わしている。その次に、「出会いの挨拶」の用法が4例あり、「感謝」の次に、高い比率を占めている。また、「別れの挨拶」「お詫び」の用法は比較的少ないものの、話し言葉の中においては、自然に用いられている用法である。では、それぞれの用法はどのように使用しているかを詳細に見ていく。

8.4 場面における用法

「単体どうも」の場面によって用法の出現回数に違いはあるのだろうか。各場面において生じた数は表15に示す通りである。出現比率は各場面の総レコードに対する各用法の場面ごとのレコードである。

表15 場面ごとにおける「単体どうも」用法の生起数

	出会いの挨拶	別れの挨拶	感謝	お詫び	合計
応対				1	1

相談			2		2
雑談	1	1		1	3
打合せ			2		2
挨拶	1	1	1		3
電話	2		4		6

表 16 場面に対応する出現比率

場面	総レコード	出現回数	出現頻度
応対	316	1	316
相談	596	2	298
雑談	10959	3	3653
打合せ	3385	2	1128
挨拶	85	3	28
電話	2636	6	439

表 15 と表 16 を合わせて見ると、挨拶の場面で「単体どうも」が用いられる比率が最も高く、28 レコードごとに「単体どうも」が現れるのに対して、雑談の場面で少なく、3653 レコードごとに「単体どうも」が現れる。ここで、電話の場面で「感謝」の用法が用いやすいことが目に付く。このような傾向から、電話の場面でお礼を表す際に、時間を配慮し、「ありがとうございます」より「単体どうも」のほうが簡略化され、感謝の気持ちも表れる。より適切であると言えるだろう。また、雑談の場面は「お詫び」の用法が見られるのに対して、挨拶の場面にこの用法が見られない。一方、挨拶の場面は「感謝」の用法が見られるのに対して、雑談の場面は見られない。場面によって、用法が選択される傾向があるようにも見られる。つまり、「場面」と「用法」には関連性があることになる。

8.5 場面別に見る「単体どうも」

では、「単体どうも」はどのような場面で用いるかを詳しく分析していく。談話資料における「場面 2」の項目に従い、職場で「単体どうも」が話されている場面については以下の

図 5 の通りである。

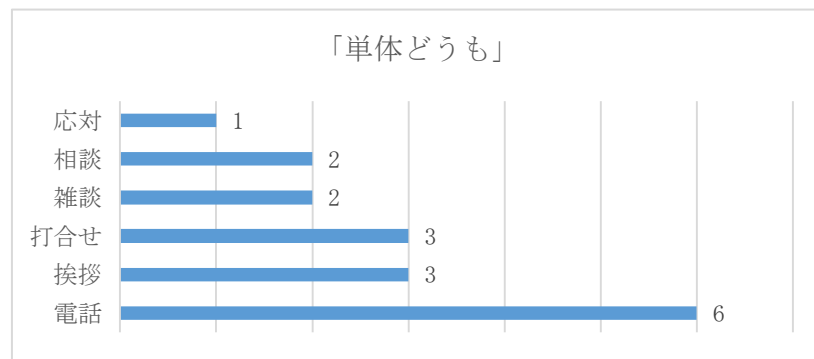


図 5 「単体どうも」の使用場面

「単体どうも」の場面による多寡は、相対的に「相談」「雑談」と「打合せ」「挨拶」の場面では、「単体どうも」の出現数の差は大きくないが、また、「応対」場面と「電話」場面の差が大きいことが確認される。「電話」場面に多く、「応対」場面に少ないことが示され、「単体どうも」は電話の場面で用いやすいこと、応対の場面で「単体どうも」が現れにくいことが示唆される。

また、図 5 を基に、「単体どうも」の使用される場面が雑談の場面（「仕事以外」とする）なのか、会議、打ち合わせ、挨拶、相談、応対等の場面（「仕事関係」とする）なのかという場面差について考察する。出現比率は場面の総レコード数÷出現回数である。

表 17 「単体どうも」の使用場面

場面	出現回数	出現頻度
仕事関係	12	1085
仕事以外	5	1804

表 17 に示すように、「単体どうも」が「仕事関係」、「仕事以外」で使われる出現回数・出現比率は仕事関係のほうが高い傾向を示している。しかし、仕事以外の場面でも使用されていることから、「単体どうも」は仕事中の場面、仕事以外の雑談の場面双方に現れている、ということが示される。

ところが、仕事関係にしても仕事以外にしても挨拶や電話の場面を含んでいる。さらに、同僚同士の雑談は社外の顧客との接客及び上司との会議などの仕事関係の雑談よりくだけていると考えられるため、フォーマルの度合いに応じた「単体どうも」の使い分けがここでは行われていると言えよう。ここで、フォーマル度ということ考えた場合、文体が「敬

体」か「普通体」によって分類が可能であると考えられる。

会話に用いられた「です・ます・ございます」を敬体とし、それ以外を普通体とする。しかし、文法の観点から言うと「どうも」という言葉は単語のレベルで、通常としては「どうも」の後ろに「です・ます」、あるいは「だ」等の表現をつけないと文が成り立たないが、今回のデータから「あ、どうも」のような文から「どうも」で言い切る場合が見られるため、文体で考える場合、「どうも」を出現する文ではなく、文体は主に「どうも」文の前文と後文でみる。以下挙げる例文のように分ける。

(16) 購買課次長：あつ、あつ、毎度どうもー。【13G・50m・取引先との電話折衝】

購買課次長：あの一、[社名] の [名字] と申します。【13G・50m・取引先との電話折衝】

発話者「13G」は「あつ、毎度どうもー」を言った後に、[社名] と [名字] を述べる文が出現したことが見て取れる。「どうも」文を考慮せず、後文を見ると、文体は「敬体」と判断される。この場合の「単体どうも」はフォーマルな場面で使われるものだと考える。

(17) 教員3：どうも。【11D・50f・打合せ】

教員1：あー、どうぞ、どうぞ。【11G・50m・打合せ】

教員3：[名前 (11E)] さん、や、来ないんだ↑ 【11D・50f・雑談】

例(17)は「どうも」文を除き、「どうも」の発話者である「11D」と「11G」とも普通体で話しているため、この場合、「普通体」と判断する。この場合の「単体どうも」はインフォーマルな場面で使われるものだと判断する。

また、前文の会話の発話者が普通体で、受話者が敬体で答える場合と前文の会話は発話者が敬体で、受話者が普通体で答える場合は、「どうも」の発話者を基準に会話文の文体で判断する。例えば以下の会話文である。

(18)図書館員（収書係）：21 万か、にじゅー、21 万 5000 ぐらいかな、それぐらいより前のは出ないですよ。【18A・20m・仕事（相談）】

図書館員（装備係）：出ない。【18F・40m・仕事（相談）】

図書館（装備係）：あっそー、じゃいーんだ、あっどうも。【18F・40m・仕事（相談）】

これは図書館員 18A と 18F の会話で、18F は 18A の先輩でかつ上司である。18A は敬体を使って話しているに対し、18F は普通体で話している。この際、「どうも」の発話者は 18F であるため、普通体と判断する。この場合の「単体どうも」もインフォーマルな場面で使われるものだという。

文体によって、「どうも」が使用される場面のフォーマル度を観察し、結果を表 18 に示す。「敬体」は項目中に「です」「ます」やその活用形、「申します」「いただきます」等の敬語などを含むもの、「普通体」は「だ（+終助詞）」や体言や感動詞などで言い切っているものとした。ただし、いわゆる美化語の「お」や「ご」は敬体に含めていない。

表 18「どうも」の発話者による文体

形式	文体	
あ、どうも、どうも	敬体 1	
あ、[名字] ですー、どうも	敬体 1	
あっどうも	敬体 1	普通体 1
先日はどうも	敬体 1	
毎度どうも	敬体 1	
どうも	敬体 1	普通体 3
はいどうも	敬体 4	普通体 3
合計	敬体 10	普通体 7

敬体は 10 件、普通体は 7 件、表 17 の仕事場面と合わせると、場面に占める仕事関係の割合に比して、文体に占める敬体の割合は小さい。これは、次、挙げる例のように、仕事関係のフォーマル度の高い場でも敬体ではなく普通体で行われている発話と仕事以外の発話の場として、くだけた発話の中でも、文体の面からはフォーマルなものが用いられていることが分かる。

(19)不動産業：#####の件で。【14G・30m・打合せ】

大学事務員：＜笑い＞あ、どうも【14H・20f・打合せ】

発話者である「14G」と「14H」が仕事関係の打合せの場面で二人とも「普通体」で話されて、この場合はインフォーマルな場面である。

(20)会社員1：お返しいたしますので。【06A・40f・雑談(電話)】

会社員1：はいどうも。【06A・40f・雑談(電話)】

例(20)の発話者「06A」は雑談の場面でも「敬体」で話されているため、この場合フォーマルな場面である。

表18からは、「単体どうも」において、敬体は10例、普通体は7例、どちらかという、「単体どうも」はフォーマルな場面で用いられている。また、形式から見ると、単独「どうも」だけの形式は敬体1例、普通体3例である。どちらかという和普通体と共に用い、インフォーマルな場面でよく使われるということになる。また、「はいどうも」の形式は話されている文体は敬体4例、普通体3例、この形式は仕事中も雑談も用い、話されている談話は敬体文も普通体の文にも使われ、つまり、「はいどうも」の使用はフォーマルかインフォーマルかの場面に関係なく用いることが分かる。

では、職場において、場面によって「どうも」の異なる形式をどのように使い分けているのだろうか、「単体どうも」がどのような場面で用いられているかを表19にまとめる。

表19 「単体どうも」の場面別出現状況

形式	場面1	場面2	文体	
あ、どうも、どうも	朝	挨拶	敬体	
あ、[名字] ですー、どうも	休憩	電話	敬体	
あっどうも	朝	相談		普通体
	会議	打合せ	敬体	

先日はどうも	休憩	挨拶	敬体	
毎度どうもー	会議	電話	敬体	
どうも	会議	挨拶		普通体
	休憩	雑談		普通体
	朝	打合せ		普通体
	朝	雑談	敬体	
はいどうも	朝	応対	敬体	
	朝	電話		普通体
	休憩	電話		普通体
	朝	電話	敬体	
	会議	打合せ	敬体	
	休憩	電話	敬体	
	朝	相談	敬体	

「単体どうも」が現れるのは、「場面 1」に朝 8 例、会議 4 例、休憩 5 例、「単体どうも」の使用が主に朝の挨拶や朝礼などに使う傾向が見られる。仕事関係の場面で 13 例、仕事以外の場面で 4 例であり、敬体は 11 例、普通体は 6 例である。仕事関係場面と文体を合わせると、職場内でも比較的フォーマルな場面での改まった会話に用いられていることが推察される。或いは、仕事が話題になっている際に使用されることが多く、フォーマルな場面で用いられるとも考えられる。また、「単体どうも」の全体の使用場面から見ると、その発話が敬体であるか普通体であるかにかかわらず用いられている。「どうも」だけの形式はインフォーマルな場面で用い、それ以外の形式は比較的フォーマル度が高い場で用いるということが考えられる。

8.6 場面における用法

どのような場面でどのような用法が使われるか、ここでは、「仕事関係」「仕事以外」を対立させて出現傾向を検討する。

表 20 場面における用法の出現状況

	出会いの挨拶	別れの挨拶	感謝	謝罪
仕事関係	2	1	5	1
仕事以外	2	1	4	1

ここで確認されるのは各種の用法は仕事場面でも仕事以外でも用いるということである。

8.7 発話者の性別

発話者が女なのか男なのかという性差から、「単体どうも」について男女別に使用実態を検討する。

表 21 性別による「どうも」の使用

形式	女性	男性
あ、どうも、どうも	1	0
あ、[名字] ですー、どうも	1	0
先日はどうも	0	1
毎度どうもー	0	1
あっどうも	1	1
どうも	3	1
はいどうも	5	2
合計	11	6

職場では女性によっても男性によっても「単体どうも」が使われている。女性が「単体どうも」を使うのは11例に対して、男性は6例である。女性は「単体どうも」の使用が男性より多くなっていることから、男女差が見られる。また、使用の形式から見ると、女性において、「単体どうも」の使用形式が多いのは「はい、どうも」「どうも」になっており、そして、「あ、どうも、どうも」「あ、[名字] ですー、どうも」の形式は女性だけに見られ、一方で、男性において、「はい、どうも」の形式が比較的によく、「毎度どうもー」「先日はどうも」の形式は男性だけに見られる。「はいどうも」「どうも」、「あっどうも」の形式は男女とも用いることが観察される。

8.8 場面別による男女差

男女はそれぞれ「単体どうも」の形式を選択して使用する。では、男女を場面とどのような関連があるかを検討する。その分析に入る前に、まず、談話資料における場面別の発話人数と発話量を整理する。なお、男女の属性が不明のレコード数を除く。(仕事関係の場面における男女の属性は不明が 289、仕事以外の場面は 184 レコード数を分析対象外である)なお、平均発話数＝レコード数÷異なり人数で計算する結果である。

表 22 仕事関係の場面における男女発話

性別	異なり人数	レコード数	平均レコード/回
女	145	6583	45
男	208	6442	31
合計	353	13025	37

仕事関係の場面に総レコード数が 13025 において、女性のレコード数が 6583 であり、男性は 6442 レコード数である。実際の異なり人数は女性 145 人、男性は 208 人である。一人当たりの平均発話数は女性の 45 話に対して男性は 31 話であり、女性の平均発話は男性より約 1.5 倍多くなっている。

表 23 仕事以外の場面における男女発話

性別	異なり人数	レコード数	平均レコード/回
女	82	5018	61
男	100	4004	40
合計	182	9022	50

仕事以外の場面の総レコード数が(9022)において、女性のレコードが 5018、男性は 4004 レコード数である。実際の異なり人数は女性 82 人、男性は 100 人である。一人当たりの平均発話数は女性の 61 話に対して男性は 40 話であり、女性の平均発話は男性より約 1.5 倍多くなっている。

表 22 と 23 から分かることは、仕事中場面でも、仕事以外でも、女性の異なり人数は男性より少ないが、レコード数が多く、平均発話数が男性より多い。

次に、仕事中の場面と仕事以外の場面において、男女別に「単体どうも」がどのように使用されるかを検討する。

表 24 場面と性別の相関

場面	性別	出現回数	出現頻度
仕事関係	男	4	1611
	女	8	823
仕事以外	男	3	1335
	女	3	1673

男性は仕事場面において、1611 レコードに一回「単体どうも」を出現するに対して仕事以外の場面で 1335 レコードに出現する。場面による差があまりないと言えよう。一方、女性は「仕事関係」の場面で 823 レコードに一回出現するに対して仕事以外は 1773 レコードである。「仕事関係」は「仕事以外」より約 2 倍使用している。「職場編の談話資料」において女性は「仕事関係」の場面で用い、朝礼や会議のような場面で「単体どうも」を挿入しながら場面に参加していると言えよう。

8.9 年代別にみる「単体どうも」

「単体どうも」の使用に男女差が見られる。では、職場における「単体どうも」の使用者の年齢層はどうなるかを調べる。結果は以下の図 6 の通りである。

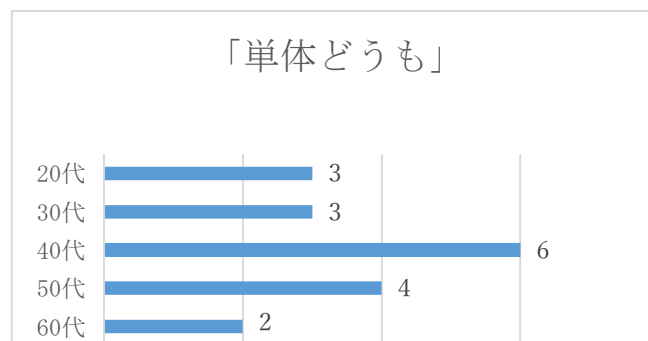


図 6 「単体どうも」の使用年代

図 6 で示すように、20 代から 60 代まで各世代に万遍なく使われている。「単体どうも」は 40 代の世代に多用されること、加えて 50 代の世代にも使用されていることが示されている。どの年代にも用いられているが、使用年代の偏りは見られるようである。

8.10 年代別による使い分け

図 6 から「単体どうも」の使用は年代により、出現回数が異なっている。では、「単体どうも」は年代により形式、場面、用法において、どのように使い分けているかを検討する。さらに、男女により、「単体どうも」の使用はこういった所で共通する、こういった所で異なるかも検討する。(使用年代と場面不明を除いた)

表 25 年代別の「単体どうも」の使用(男性)

形式	年代	場面	用法
はいどうも	30 代	応対	お詫び
どうも	40 代	雑談	出会いの挨拶
あっどうも		相談	感謝
毎度どうも	50 代	電話	感謝
はいどうも		電話	感謝
先日はどうも	60 代	挨拶	感謝

男性の使用は 20 代から 60 代まで渡っている。使用される場面「応対」「雑談」「相談」「電話」「挨拶」の場面である。用法としては、「お詫び」「出会いの挨拶」「感謝」、そのうち、「感謝」の用法が多用されている。使われる用法の高い順から並べると、感謝 4 例、出会いの挨拶、お詫びそれぞれ 1 例である。

表 26 年代別に「単体どうも」の使用(女性)

形式	年代	場面	用法
あ、どうも	20 代	打合せ	感謝
はいどうも		打合せ	感謝
どうも		雑談	謝罪
あ、[名字] ですー、どうも	30 代	電話	出会いの挨拶
はいどうも		電話	感謝
はいどうも	40 代	電話	出会いの挨拶
どうも		挨拶	別れの挨拶
はいどうも		電話	感謝

はいどうも		相談	感謝
あ、どうも、どうも	50代	挨拶	出会いの挨拶
どうも		打合せ	感謝

女性は「単体どうも」の使用が20代から50代までであり、60代の使用が見られない。使用される場面「打合せ」「雑談」「電話」「挨拶」「相談」の場面である。用法としては、「感謝」「お詫び」「出会いの挨拶」「別れの挨拶」である。使われる用法の高い順から並べると、感謝6例、出会いの挨拶3例、お詫び1例の順となっている。

今回職場のデータを用い、男女の共通点としては「単体どうも」の使用年代は20代から50代で、使用される場面は「雑談」「相談」「電話」「挨拶」の場面で、用法は「謝罪」「出会いの挨拶」「感謝」である。そして、男女とも「感謝」の用法が多用される。異なる点としては男性の使用年代に60代が見られるに対し、60代女性の使用は見られないことである。男性は「応対」の場面に用い、女性は「打合せ」の場面に見られる。さらに、使用用法においては、「別れの挨拶」は女性に見られ、男性に見られない。

8.11 発話者からみる「単体どうも」

以上の項目から「場面」と「用法」の関連性、男女により、形式や使用年代・場面・用法等の使い分けを見てきた。ここで、各形式において、「単体どうも」を使う発話者の属性を表27にまとめる。(属性と場面不明を除いた)

表27 発話者から見る「単体どうも」の使用状況について

形式	場面	用法	性	年代
あ、どうも、どうも	挨拶	出会いの挨拶	女	50
あ、[名字] ですー、 どうも	電話	出会いの挨拶	女	30
あっどうも	打合せ	感謝	女	20
	相談	感謝	男	40
先日はどうも	挨拶	感謝	男	60
毎度どうも	電話	感謝	男	50

どうも	挨拶	別れの挨拶	女	40
	雑談	謝罪	女	20
	雑談	出会いの挨拶	男	40
	打合せ	感謝	女	50
はいどうも	電話	出会いの挨拶	女	40
	電話	感謝	女	40
	打合せ	感謝	女	20
	電話	感謝	女	30
	相談	感謝	女	40
	応対	謝罪	男	30
	電話	感謝	男	50

職場において、20代の方は「単体どうも」を3回使われ、形式は「あっどうも」、「どうも」、「はいどうも」であり、場面は打合せ2、雑談は1、用法は「感謝」2、「謝罪」1である。しかし、使用されるのは全員女性で、男性の使用が見られず男女差が見られる。

30代の方は「単体どうも」を3回使われ、形式は「あ、[名字] ですー、どうも」1、「はいどうも」2であり、場面は電話2、応対は1、用法は「出会いの挨拶」、「感謝」「謝罪」1である。男女とも用いるが、女性は電話の場面で「出会いの挨拶」と「感謝」の用法が使われるに対して男性は応対の場面で「謝罪」の用法として使われる。男女によって「単体どうも」を使い分けていることが考えられる。

40代の方は「単体どうも」を6回使われ、形式は「あっどうも」1、「どうも」2、「はいどうも」3であり、場面は相談2、電話2、挨拶1、雑談1、用法は「感謝」3、「出会いの挨拶」2、「別れの挨拶」1である。男女とも用いており、女性は4回使われ、挨拶の場面で「別れの挨拶」の用法、電話の場面で「出会いの挨拶」「感謝」の用法、相談の場面で「感謝」の用法が使われているのに対し、男性では相談の場面で「感謝」の用法、雑談の場面で「出会いの挨拶」の用法が使われている。女性は男性より広く使われることが示される。

50代の方は「単体どうも」を4回使われ、形式は「あ、どうも、どうも」、「毎度どうも」、「どうも」、「はいどうも」であり、場面は電話2、挨拶1、打合せ1、用法は「感謝」3、「出会いの挨拶」1である。男女とも用いる。そのうち、女性は挨拶の場面で「出会いの挨拶」

拶」の用法と打合せの場面で「感謝」の用法が使われるに対し、男性は電話の場面で「感謝」の用法が使われている。男女の間で用法が異なることが分かる。

60代の方は「単体どうも」を1回しか使われてなく、形式は「先日はどうも」であり、場面は挨拶であり、用法は「感謝」である。女性の使用が見られず男女差が見られる。

また、全体の性別から見ると、女性では打合せの場面で「感謝」の用法が用いられ、男性では打合せの場面での使用が見られない。一方、男性は応対の場面で「謝罪」としての用法が使用されるのに対し、女性での使用は見られない。

8.12 発話者と受話者の関係

ここから、発話者と受話者の関係から「単体どうも」を分析する。受話者に視点を向け、どのような相手に対して「単体どうも」のどのような形式を使用しているのかを検討する。

表 28³ 発話者と受話者の関係

形式	発話者性	発話者 年代	受話者性	受話者 年代
あ、どうもどうも	女	50	女	40
あ、[名字] ですー、どうも	女	30	不明	不明
あっどうも	女	20	男	30
	男	40		
先日はどうも	男	60	女	30
毎度どうも	男	50	女	30
どうも	女	40	女	50
	女	20		
	男	40		不明
	女	50		
	女	40	男	30
	女	40	女	30

³ 表中の「不明」は、その情報について談話資料が欠けていることを示す。

はいどうも	女	20	男	30
	女	30	不明	不明
	女	40	女	40
	男	30		
	男	50		

表 28 からは「あ、どうもどうも」は同性の年少者の受話者に使う。「あっどうも」は異性の年長者に使う例が見られる。

「先日はどうも」「毎度どうも」は女性の使用が見られず、男性だけに見られ、そして、年少者に使う。「どうも」だけの形式は年長者に使う。「はいどうも」は年少者、年長者、同年代に使い、話の相手によって、形式を選択することがわかる。「単体どうも」は年齢関係に関係なく、用いられていることが分かる。

また、発話の相手が男性であるか女性であるかに関係なく、用いられていると言えよう。女性が女性に対して、「どうも」を使用する回数が最も多く、次に多いのは、女性が男性に使用する場合である。ただし、男性が男性に対して使用する「単体どうも」は見られなかった。

8.13 職場関係に見る「単体どうも」

発話者は「どうも」を使う際に、自分と受話者との関係が如何に「単体どうも」の使い方に反映しているかという点を見る。ここで主に、発話者自身の性別・年齢・地位などと受話者のそれとの関係は以下図 7 に示す。(不明を除いた)

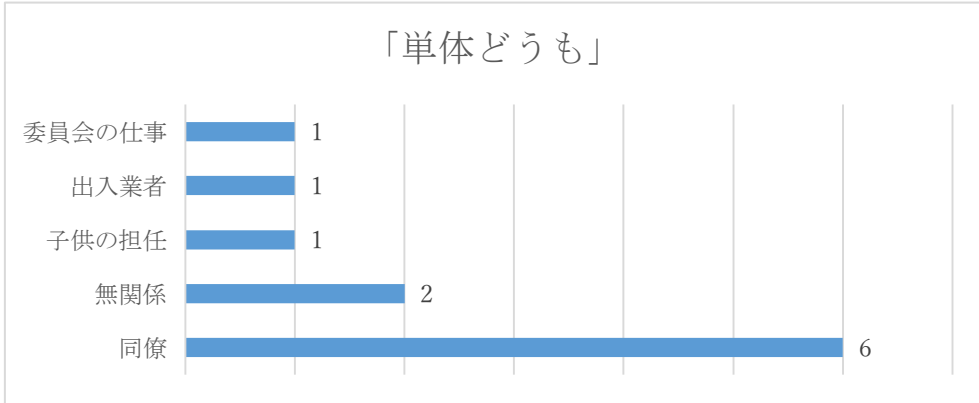


図 7 発話者と受話者の関係

図7でわかるように、同僚のような仕事上の付き合いでの間柄の割合が一番高い。また、同僚以外に、出入業者や子供の担任のような私的な社交上で付き合う間柄でも「どうも」が使われる。更に、「単体どうも」の発話者と受話者関係の内訳は以下の表29にまとめる。

表29「単体どうも」—発話者との関係

形式	年齢関係	性別関係	職階関係	親疎関係
あ、どうもどうも	下 1	同	無	不明
先日はどうも	下下 1	異	無	親
毎度どうも	下下 1	異	不明	不明
あ、どうも	上 2	異 不明	無 同	疎疎 親
どうも	上 1 同 1	同 3 異 1	無 2	普通 2
はいどうも	上 1 同 1 下 3	同 2 異 2	同 2 無 2 下下 1	親親 1 普通 2 疎疎 2

「単体どうも」は話の受話者によって形式を使い分けており、また、年齢上では年長者、同年齢、年少者まで使うことが伺われる。年長者に対して使われる形式は「あ、どうも」、「どうも」、「はいどうも」の形式が見られる。年齢関係においては、関係なく使われるということである。異性の相手に対して「先日はどうも」、「毎度どうも」、「あ、どうも」の形式を用いる例が見られる。「あ、どうもどうも」の形式は同性の相手に対して用いる例が見られる。受話者の性別によって、異なる形式を選択するようである。職階関係においては、「無」が最も多く、同階の人、目下の人に対しての使用も見られる。ということは、「単体どうも」は目上の人に対して使わず、主に、社外の顧客や子供の担任のような無関係の人に対して使われることが多いことが分かる。親疎関係においては、「親親」1例、「親」2件例、「普通」4例、「疎疎」は3例、親疎関係においても関係なく全般に用いられていることが分かる。

8.14 全体考察

ここで、冒頭に述べた仮説について考察を進める。

まず、仮説 1 について、「単体どうも」の使用は職階関係によって、使い分けているのかということだが、職場における職階関係においては、ほとんど社外の顧客のような無関係のような間柄が多いが、同僚と目下のような職階関係の例が見られる。

(21) 小学校教員：じゃあ。【08A・50f・挨拶】

担当児の母（会社役員）：どうもー。【08G・40f・挨拶】

例(21)のように、08Aの小学校の教員と担当児の母（会社役員）の「08G」は特に、同じ会社で働くわけではないため、職階の関係が見られない。

(22) 元同僚：いやいや、先日はどうも。【09J・60m・挨拶】

地方公務員：（高校教員）：いや、こちらこそ。【09A・30f・挨拶】

例(22)は 09 J と 09A は元会社の同僚であって、職階の関係が見られない。

(23) 会社員 1：お返しいたしますので。【06A・40f・雑談(電話)】

会社員 1：はいどうも。【06A・40f・雑談(電話)】

例(23)は会社員である 06Aが電話の場面で、受話者の会話が録音されないため不明だが、データ上の情報により、受話者との関係は目下の人である。

以上の例から、職場においても、目上に対して使用される例が見られず、この結果は正木(1992)の報告と一致している。従って、この傾向があると言ってよいだろう。

また、年齢関係において、年長者の人に向かって使う場合がある。例えば、以下のような例を挙げる。

(24) 不動産業：#####の件で。【14G・30m・打合せ】

大学事務員：＜笑い＞あ、どうも【14H・20f・打合せ】

例(24)は職業「不動産業」の30代男性「14G」と職業は「公務員」で役職は「大学事務員」である20代の女性「14H」との「会議」「打合せ」の場面での会話である。この「14H」の発話者は「14G」より年長者の男性に向かって使っている例である。

(25)会社員：どうもー。【08A・40m・雑談】

同僚：おはよーす。＜間 30秒＞【08B・50m・雑談】

会社員である40代男性「08A」と自分より年上の50代の同僚「08B」に向かって、「朝」「雑談」の場面で「出会いの挨拶」として「どうも」が使用される。

このように、「単体どうも」は目上の人に対して、使わないが年長者の人に対して使えると言える。

仮説2について

職場において、異なる用法によって、使用実態がどうなっているのか、そして、様々な用法を持つ中で、「感謝」の用法において、どのように使用されているのか、多く使用されているのかのことだが、職場においては、「出会いの挨拶」、「別れの挨拶」、「お詫び」、「感謝」の用法が見られたが、その中で「感謝」が最も使われ、これは正木(1992)の結果一致しているが、また、同じ「感謝」・「お詫び」を表すでも場面によって、適切か不適切な場合があるということだが、これに対し、本研究では、「見られる感謝」の用法は以下の例文を提示する。

(22). 購買課次長：あつ、あつ、毎度どうもー。【13G・50m・取引先との電話折衝】

購買課次長：あの一、[社名]の[名字]と申します。

【13G・50m・取引先との電話折衝】

(23)図書館員（収書係）：21 万か、にじゅ一、21 万 5000 ぐらいかな、それぐらいいい、より前のは出ないですよ。 【18A・20m・仕事（相談）】

図書館員（装備係）：出ない。【18F・40m・仕事（相談）】

図書館（装備係）：あっそー、じゃいーんだ、あっどうも。

【18F・40m・仕事（相談）】

例(22)も(23)も感謝を表す例であるが、特に相手上に何かの負担の上に成り立つわけではなく、これは正木(1992)の軽い感謝の気持ちを表す場合及び役割行為と一致する。また、職場で「お詫び」に使用される例も挙げる。

(24). 薬剤師：ちょっとお待ちください。＜ドアの音＞ 【01D・30m・客との応対】

薬剤師：はいどうも。 【01D・30m・客との応対】

この例(24)は「客との応対」の場面で行われる会話文だが、薬剤師の「01D」は自分より年少者の同僚に向かい、「お詫び」として「はいどうも」が用いられている。

つまり、相手との関係によって、お詫び系統の「どうも」が適切な場合もある。

仮説 3 について

性別により、使い分けがあるかどうかのことだが、本研究の調査結果は、職場の談話資料において、発話者から見ると、女性の使用例は男性の 2 倍近くになっている。レコードの出現比率から見ても、女性の使用が多い。これは正木(1992)と于・劉(2017)の結果と一致しない。

仮説 4 について

年代により、差があるかどうかのことだが、本研究によって、職場では四十代の使用が多く、その次に五十代が多用されることが分かった。これは于・劉(2017) 二十代、三十代が圧倒的に多かった結果と一致しない。

さらに、職場で相手との関係において、「同僚」のような間柄が最も多く、その次に、社外の顧客や子供の担任のような私的な間柄である。これは于・劉(2017)の初対面の人、知り合い、親しい人にも使う結果と一致しない。

このように、先行研究の結果と共通するのは、「単体どうも」は感謝の意味として多用されること以外に、発話者の性別や・年齢・発話者との職階関係などが関係ないことが分かった。今回の調査結果は先行研究が検証された結果と異なる結果も得られた。

8.15 まとめ

『合本 女性のことば・男性のことば(職場編)』のデータを利用し、「単体どうも」の17件を抽出した。それらを出現場面・用法、発話者はどのような属性を持つか、発話者と受話者の関係に基づき分析した結果、わかったことを以下のようにまとめる。

「単体どうも」の形式は「あ、どうもどうも」「先日はどうも」「毎度どうも」「あ、どうも」「どうも」「はいどうも」がある。「単体どうも」の用法として、「出会いの挨拶」、「別れの挨拶」「感謝」「お詫び」がある。「感謝」と「出会いの挨拶」が最も使われる。「単体どうも」の使用年代は20代～60代まで行き渡る。特に、40、50代の人が多用される。

「単体どうも」の使用される場面は「応対」「相談」「打合せ」「挨拶」「電話」である。電話の場面が最も多く、応対の場面が少ない。比較的工作関係等のフォーマルな場面に用いられているが、形式としての「どうも」はインフォーマルな場面で使用される。他の形式「はいどうも」等は比較的工作関係等のフォーマルな場面で使用されることが多い。

「単体どうも」を使う発話者と受話者の関係は、職場で目上に向かって使わず、目下か同僚同級の関係、あるいは、社外の顧客のような無関係の場合など、かなり親しい関係から親しくない関係まで使用できる。ただし、受話者との関係によって、使用する形式が違ってくるようである。

また、「あ、どうもどうも」「あ、[名字] ですよー、どうも」の形式は女性だけに見られ、「毎度どうもー」「先日はどうも」の形式は男性だけに見られる。

話し言葉のデータを用い、再度感謝を表す表現は男性だけに見られ、少なくとも職場という環境では「先日はどうも」「毎度どうも」男性専用語であると断じてよいと思われる。

9. 「複合体どうも」の使用実態

9.1 調査の目的

本章では、『合本 女性のことば・男性のことば(職場編)』の談話資料において、「複合体どうも」がどのような場面でどのような用法を持ち、どのような相手に対して使用されるか、日本語母語話者の使用実態を明らかにすることを目的とする。管見の限り、これまでの先行研究では「複合体どうも」の使用実態についての検証が見られない。本研究は職場の談話データを用い、職場では「複合体どうも」の使用についてどうなっているのかを調査する。さらに、以下の3つの課題を設けて検証していく。

- (1) 場面によって、用法が異なるのか。
- (2) 性別によって、それぞれ使用される用法が異なるのか。
- (3) 待遇関係において、どうなっているのか。

9.2 「複合体どうも」のバリエーション

『合本 女性のことば・男性のことば(職場編)』の談話資料に現れた「複合体のどうも」を抽出し、その出現形式と出現数を示したものが以下の表30である。コーパスでの出現頻度の多い順に表示してある。

表30 「複合体どうも」のバリエーション

番号	「複合体どうも」形式	出現回数
1	どうもありがとうございます(ました)	13
2	どうもすいません(でした)	5
3	どうもお世話になってます(おります)	4
4	どうもこう	3
5	きのうはどうもありがとうございます(ました)	2
6	どうもご無沙汰しておりますー(ます)	2
7	どうもさー	2
8	どうもしかし	1
9	どうも、ごくろーさまー	1

10	どうもおはようございます	1
11	どうも苦手	1
12	どうもなんか、いろいろ	1
13	どうもあの	1
14	どうもお手数（てすう）かけました	1
15	どうも、←その通りになりそう	1
16	どうもじゃあ	1
17	どうも失礼しまーす	1
18	どうもすぐ決まらないようでしたら	1
19	どーも、無理そう	1
20	どうもこのー	1
21	どうもお疲れさまでーす	1
22	どうもこんにちわ	1
23	どうも、お待たせいたしましたー	1
24	どうも増えてないみたい	1
25	どうも、それができてなかったみたい	1
26	どうもはじめましてー	1
27	どうも（兄）が、間に合いそうにない	1
28	どうも、もーしわけありません	1
29	どうもねえ	1

この表 30 のデータから「複合体どうも」のバリエーションは 29 件見られ、そのうち、日本語母語話者は 1「どうもありがとうございます（ました）」を使う割合が高いことがわかる。次に、2「どうもすみません」を使う傾向も見られる。職場での「複合体どうも」の出現頻度の高い形式としては「どうもありがとうございました」13 件、「どうもすみません(1 でした)」5 件、「どうもお世話になってます（おります）」4 件があり、これらの形式は比較的頻繁に用いられるといえる。では、この様々なバリエーションはどんな用法として使われるのだろうか。

また、調査結果から以下の例を分析対象から除く。

(29). 会社員：常務も関わってきて、常務から何度も、常務自宅にいらっしゃったんですけど、何度も何度も電話かかってきて、えっ、きょう出ているのかーとかいって、で、どうも、ごくろ一さまーとかいって、[名字] ーくん
にーとかいって、＜笑い＞タイも###。 【11H・20f・休憩】

(30) ミュージシャン：あーあーあーあー、とかいって、¥「あ、どうもはじめましてー」、とかって、【21B・20f・休憩】

例(29)の「どうもごくろ一さまー」と例(30)の「どうもはじめましてー」はその場にいる他者による挨拶が挿入されたもの、他の人の発話の引用（つまり、本人の発話とはみなせないもの）であり、分析対象に該当しないため、除外する。

9.3 「複合体どうも」用法の定義

『合本 女性のことば・男性のことば(職場編)』の談話資料における「複合体どうも」について、辞書と先行研究に基づき、その分類基準と分類項目の概要を整理する。

1. 判断：議論の根拠や物事の原因が不確かな時、現実のあり方に疑念をもつ時、ことごらのあり方を明確する時に用いる用法。

(31). 大学事務員：ども学生のことだからあの一、きちとこちらもあの一、たとえば名前だけを書けとか住所も書けとかってゆうふうに指導してなかったんで、（ええ、ええ 他者(男)）＜笑いながら＞どうもあの一、各自ばらばらなんですよー。【11H・20f・休憩】

(32). 雑誌編集：で、来年の春一から、まあ、たとえば、日米が、その、とりやめるとかって、ゆう話がきてますので、こう、どうもこう、勢いとしては、ちょっといま下がってる状、況ですね。【17A・30f・会議】

2. **推量**：「そうだ」「らしい」「みたい」のモダリティと呼応して、不確かな様子を表す時に用いる用法。

(33). 雑誌編集：どうも、←その通りになりそうですー【16E・30f・休憩】

(34). 会社員：どーも、無理そうじゃーん↑【07A・30m・休憩】

3. **フィラー**：「どうもね」等の形で、応答詞的・間投詞的に用い、隙間を埋める。

(35). 会社員：どうもねえ、で、ほら、工事で、ごちゃごちゃ、もう、やってたし
【09J・60m・休憩】

(36). 会社員：でさー、どうもさー、ちょっとうさんくさいってゆうかさー。
【09J・60m・休憩】

4. **強調**：謝礼・謝罪・挨拶などの表現の前に置き、その意を主張する。

(37). 大学事務員：どうもお手数（てすう）かけました。【14H・20f・会議】

(38). 翻訳事務所主宰：どうもいつもお世話になってます。【05A・40f・朝】

9.4 「複合体どうも」の用法分類

『合本 女性のことば・男性のことば(職場編)』における「複合体どうも」がどのような用法をもつかコーディングして、前節の用法定義に基づき分類すると、以下のような分布となる。

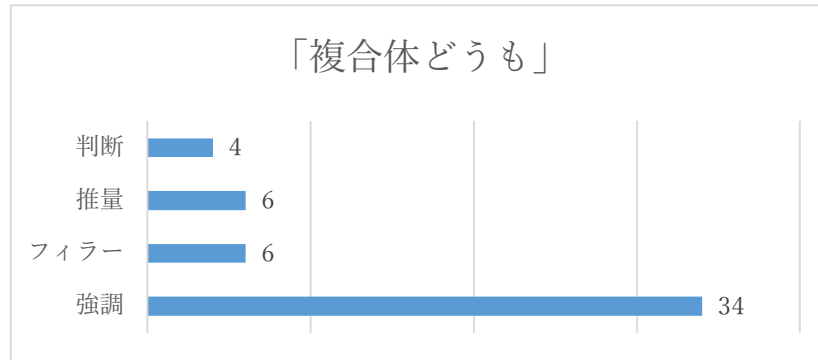


図 8 「複合体どうも」の用法

表 31 「複合体どうも」の出現実態

用法	形式	出現回数
強調	どうも（ありがとう、すいません）など	34
フィラー	どうも（しかし、ねえ）	7
推量	どうも（らしい、みたい）など	6
判断	どうもこう、勢いとしてはなど	4

図 8 と表 31 から分かるように、「強調」の用法が一番使われている。「推量」と「フィラー」は同じぐらいで、「判断」の用法が比較的少ない。つまり「複合体どうも」は謝礼・謝罪・挨拶などの表現の前に置き、その意を強調する用法の使用が最も多く、これは「複合体どうも」の主な用法と言える。

9.5 場面に見る「複合体どうも」

談話資料における「場面 2」の項目に従い、職場で「複合体どうも」が話されている場面について以下の図 9 に示す。

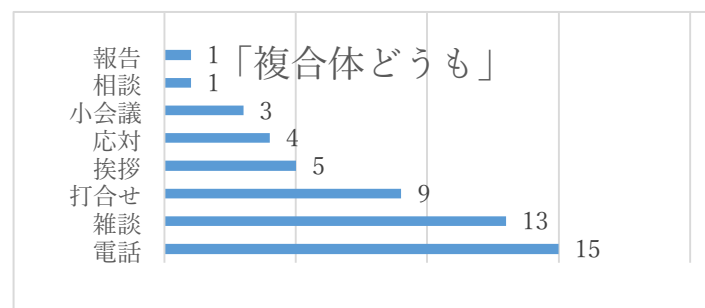


図 9 「複合体どうも」の使用場面

ここで分かることは「雑談」「電話」の場面で最も多く、「報告」「相談」の場面で少ないということである。また、「小会議」、「応対」、「挨拶」「打合せ」の場面で用いられていることが確認される。これを基に、仕事関係か仕事以外かについて差があるかどうかを考察する。出現比率は総レコード数÷出現回数で計算する。

表 31 「複合体どうも」の使用場面

場面	出現回数	出現頻度
仕事関係	40	326
仕事以外	11	820

表 31 に提示する通り、出現回数も出現比率も仕事関係のほうが高いことが分かる。仕事関係の場面で 326 レコードに一回「複合体どうも」が現れるのに対して、仕事以外の場面では 820 レコードに一回「複合体どうも」が出現する。

9.6 場面における用法の使い分け

では、使用場面において、用法の傾向はどうなるのか。使用場面によって、「複合体どうも」の用法が異なるか、場面ごとに生じた用法を見る。

表 32 場面ごとの「複合体どうも」の用法

用法 場面	判断	推量	フィラー	強調	出現頻度 (総レコード)
電話	0	1	0	14	176 (2636)
雑談	2	2	6	4	783 (10959)
打合せ	1	2	0	5	423 (3385)
挨拶	0	0	0	5	17 (85)
応対	0	0	0	3	105

					(316)
小会議	1	1	0	1	367 (1102)
相談	0	0	0	1	596 (596)
報告	0	0	0	1	584 (584)

表 32 のデータによれば、挨拶の場面で出現比率が高く、17 レコードごとに 1 回「複合体どうも」が現れる。それに対し、雑談の場面では出現頻度が低く、783 レコードごとに 1 回「複合体どうも」が現れる。挨拶の場面では「強調」の用法だけが見られ、雑談の場面では「複合体どうも」のすべての用法が見られる。「強調」の用法は全ての場面に用いられている。また、電話の場面で「強調」の用法を用いやすい傾向がみられる。「フィラー」の用法は雑談の場面にしか使われない。ここでも、場面の違いによって異なる用法が選択されることが分かる。

さらに、「仕事関係」か「仕事以外」の場面から用法の出現傾向を見てみる。

表 33 場面における用法の出現状況

場面	強調	フィラー	推量	判断
仕事関係	32		2	2
仕事以外	2	6	2	2

「強調」の用法は主に仕事場面で、「フィラー」は「仕事以外」で使用されることが分かる。「推量」と「判断」は仕事関係でも仕事以外でも用いる。

では、「複合体どうも」のフォーマル度はどうなっているかを文体から検証する。

表 34 発話者による文体

用法	形式	敬体	普通体
強調	どうも（ありがとう、すいません）など	31	3
推量	どうも（しかし、ねえ）	3	3
フィラー	どうも（らしい、みたい）など	0	6

判断	どうもこう、勢いとしてはなど	2	2
----	----------------	---	---

「複合体どうも」は用法によってフォーマル度と関係があるようである。表 33 の項目と合わせると、「強調」の用法は敬体的な文体で 31 件見られ、フォーマル度が高い仕事関係の場で用いることが言える。「フィラー」はインフォーマルな仕事以外の場面で使われる。「推量」「判断」の用法はフォーマルかインフォーマルに関係なく、使用される。

では、各用法は場面によって選択されるのかを見てみる。

表 35 用法における用法出現状況

用法	場面 1	場面 2	敬体	普通体
強調	朝 22 会議 10 休憩 3	電話 14 打合せ 6 挨拶 5 雑談 3 応対 4 小会議 1 報告 1 相談 1	31	4
推量	会議 3 朝 1 休憩 2	打合せ 2 雑談 2 小会議 1 電話 1	3	3
フィラー	休憩 3 朝 2	雑談 5	0	5
判断	会議 2 休憩 2	雑談 2 打合せ 1 小会議 1	2	2

表 35 から見ると、「強調」の用法は「場面 1」の朝が最も多く、電話の場面でも多い。文体の面からも敬体で話されているため、朝の仕事における電話の場面で用いやすいと考えられる。

「推量」は「会議」、「朝」、「休憩」の場面で用いられ、「場面 2」から見ると雑談の場面でも使われる。文体の面から見ると「敬体」でも「普通体」でも使われ、場面のフォーマル度に関係なく用いることが分かる。

「フィラー」は「場面 1」の休憩と朝の場面に出現したが、文体の面から見るとすべて普通体であるため、「フィラー」はインフォーマルな場面で使われると言える。

「判断」の用法は会議のようなフォーマル度が高い場でも雑談の場面でも用いる。文体は敬体でも普通体でも使用され、フォーマル度に関係なく用いられているといえる。

つまり、用法は場面によって異なる用法が使われると言える。さらに、ここで、職場でよく出現した形式ごとに見ていく。

表 36 「複合体どうも」の場面別出現状況

番号	形式	場面 1	場面 2	敬体	普通体
1	どうもありがとうございます(ました)	朝 8 会議 3	電話 4 応対 3 打合せ 2 相談 1 報告 1	11	
2	どうもすいません(でした)	朝 3 会議 3	電話 2 挨拶 1 休憩 1 小会議 1 打合せ 1	6	
3	どうもお世話になってます(おります)	朝 3 会議 1	電話 4	4	
4	きのうはどうもありがとうございます(ました)	朝 3	電話 2 挨拶 1	2	1

表 36 に示すように、「どうもありがとうございます(ました)」、「どうもすいません(でした)」、「どうもお世話になってます(おります)」、「きのうはどうもありがとうございます(ました)」の形式は発話の場としてはフォーマルな場面に偏っており、文体の面からみ

ると「敬体」で用いられていることが分かる。そして、フォーマルに偏っていながら文体では「敬体」ではなく、「普通体」で用いられているのは4「きのうはどうもありがとうございます(ました)」である。

以上のことから、「複合体どうも」の出現形式・出現回数は会話の場面によって異なることが分かる。また、「きのうはどうもありがとうございます(ました)」のように、例外はあるものの、フォーマルな状況かによっても使用形式は異なることが分かる。

9.7 性別

発話者の性別による「複合体どうも」の使用実態を見る。男性か女性か不明であった「どうもこんにちは」については除いている。

表 37 性別による用法の使用状況

用法	女性	男性
強調	19	15
推量	1	5
フィラー	2	3
判断	4	0

表 37 から分かるように、「強調」の用法が女性は 19 例、男性は 15 例見られ、同じぐらいであるといえる。そして、「フィラー」も女性 2 例、男性 3 例で差があまりなく、性別に関係なく用いることが分かる。一方、「推量」の用法は女性 1 例、男性 5 例である。「判断」の用法が女性は 4 例で、男性の使用は見られない。性別により、異なる用法が使われると言ってよいだろう。では、各形式ごとにどうなるかを見てみる。

表 38 発話者の性別

番号	形式	女性	男性
1	どうもありがとうございます(ました)	5	5
2	どうもすいません(でした)	5	1
3	どうもお世話になってます(おります)	3	1
4	きのうはどうもありがとうございます(ました)	2	1

形式から見ると、1. 「どうもありがとうございます」は性別に関係なく、男性も女性も

用いる。2.「どうもすいません(でした)」、3.「どうもお世話になってます(おります)」は女性のほうが若干多い。性別により、使う形式が異なるようである。

9.8 場面別による男女差

では、場面における男女の差を見てみる。

表 39 「複合体どうも」の場面と性別の相関

場面	性別	出現回数	出現比率
仕事関係	男	16	403
	女	22	299
仕事以外	男	5	801
	女	6	836

男性は場面による差が見られる。仕事関係に 403 レコードに一回「複合体どうも」を使うのに対して仕事以外では 801 で頻度は約 2 倍である。女性は仕事関係での使用頻度が 299 レコード中 1 回なのに対して、仕事以外での使用頻度が 836 レコード中 1 回であり、約 3 倍高く、明確に使い分けていることが分かる。

また、仕事場面で女性は男性より「複合体どうも」を使う傾向があることが示された。一方、仕事以外では男性のほうがやや高い傾向を示している。

9.9 年代別にみる「複合体どうも」

『合本 女性のことば・男性のことば(職場編)』における「複合体どうも」の使用者の年齢層は以下の図 7 の通りである。(不明の 1 例を除く)

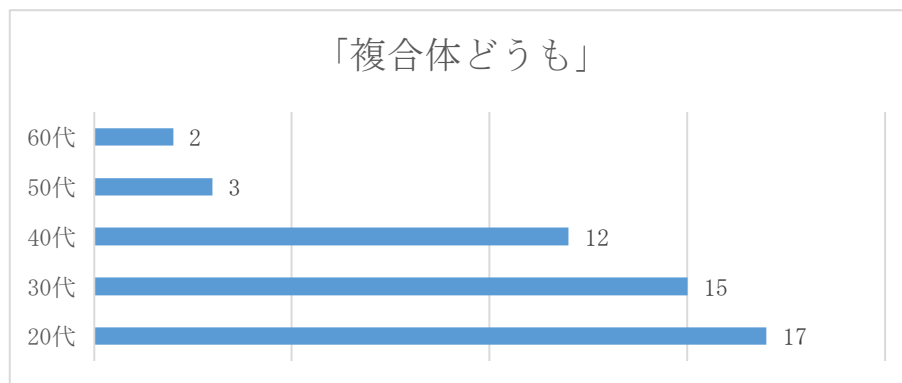


図 10 「複合体どうも」の使用年代

図 10 で示すように、20 代から 60 代まで各世代に万遍なく使われているが、「複合体どうも」は 20 代、30 代の世代に多用される。加えて 40 代にも支持されている。一方、50、60 代の世代はあまり用いず若い世代とは隔たりがあることがわかる。

9.10 男女における「複合体どうも」の使用

年代により「複合体どうも」の使用に差がある。では、どのような属性を持つ発話者が「複合体どうも」を使うかを見る。また、男女により、「複合体どうも」はどのように使い分けられているかを見る。

表 40 男女における用法

年代	用法(男)	場面(男)	用法(女)	場面(女)
20	強調 4 推量 2 フィラー 1	電話 3 雑談 2 打合せ 1 応対 1	強調 6 フィラー 1 判断 1	電話 5 打合せ 3
30	強調 7 推量 1	電話 1 雑談 応対 打合せ	強調 3 推量 1 フィラー 2 判断 1	雑談 4 小会議 挨拶 電話
40	強調 推量	小会議 報告	強調 9 判断 1	電話 5 挨拶 2 雑談 1 相談 1 小会議 1
50	強調 2	応対	判断 1	雑談
60	フィラー 2			

20 代の人は用法として「強調」、「推量」、「フィラー」、「判断」を使用しているが、そのうち男女ともに使われる用法は「強調」と「フィラー」である。男性は「推量」の用法を用いるのに対して女性には使用が見られない。女性は「判断」の用法を用いるのに対し

て男性は見られない。使用場面でみると男女とも「電話」「打合せ」の場面に用いているが、男性は「打合せ」「応対」の場面での使用が見られ、女性では見られない。男性は女性より使用場面が広い傾向がある。

30代の人には用法として「強調」「推量」「フィラー」「判断」を使用しているが、女性には「フィラー」「判断」の用法が見られ、男性には見られない。使用場面は「電話」「雑談」「応対」「打合せ」「小会議」「挨拶」である。そのうち、男性は「雑談」「応対」「打合せ」の場面で使用し、女性は「小会議」「挨拶」の場面で使用していることから、使用場面には性差があると考えられる。

40代の人には用法としては「強調」「推量」「判断」が見られる。男性には「推量」の用法が見られ、女性には見られない。一方、女性には「判断」の用法が見られ、男性には見られない。数的から見ると、男女どちらにも「強調」の用法が見られるが、女性のほうが使用率が高い。使用場면을みると男性が「小会議」「報告」で使い、女性は「電話」「挨拶」「雑談」「相談」「小会議」で使っている。使用場面では女性は男性より広く使用していることが分かる。

50代の人には男性が「応対」の場面「強調」の用法を用い、女性は「雑談」の場面「判断」の用法を用いていて、それぞれの用法と使用場面が異なることが観察される。

60代の人には男性に「フィラー」の用法の使用が見られ、女性には「複合体どうも」の使用が見られない。

9.11 用法別使用状況

ここで、各用法において、「複合体どうも」を使用する発話者の性別・年代を明らかにする。また、性別や年代により、それぞれ使用される場面・用法に違いがあるかを検討する。

表 41 用法による使用状況

用法	男	女	年代(人)	場面
強調	13	16	20 (11)	電話 15
			30 (9)	打合せ 6
			40 (10)	挨拶 4
			50 (2)	雑談 3
			60 (1)	応対 4
				小会議 1
				報告 1
				相談 1
推量	5	1	20 (2)	雑談 2
			30 (3)	打合せ 2
			40 (1)	小会議 1
				電話 1
フィラー	3	2	20 (1)	雑談 5
			30 (2)	
			60 (2)	
判断	0	4	20 (1)	雑談 2
			30 (1)	打合せ 1
			40 (1)	小会議 1
			50 (1)	

表 41 を見ると、まず、「強調」の用法において、男性は 13 例、女性は 16 例である。例数は同じぐらいである。年代から見ると、20 代が 11 例で、最もよく使われている。その次に使われるのは 30、40 代で、50、60 代の使用例はかなり少ない。「強調」の用法には年代差があると言ってよいだろう。場面をみると電話の場面で一番多く、次に打合せの場面で使われる。あまり使われていないのは「小会議」、「報告」、「相談」の場面である。場面差が見られるといえる。

「推量」の用法において、男性は 5 例、女性は 1 例である。男性は女性よりよく用いる

ことが分かる。使用年代は 20 代から 40 代である。使用場面は雑談も小会議もある。

「フィラー」の用法において、男性は 3 例、女性は 2 例で同じぐらいである。使用年代は 20 代、30 代、60 代である。使用場面は全て雑談の場で、「フィラー」の用法はフォーマルな場面で使わないことが分かる。

「判断」の用法において、男性の使用は見られず、女性には 4 例が見られる。性別差があるといえる。使用年代は 20～50 代である。使用場面は雑談、打合せ、小会議である。

以上から、用法によって、性別・年代・場面が選択されることがはっきり分かった。

ここで、さらなる特徴を明らかにするために、比較的によく使われる形式を見る。

表 42 各形式における使用状況

形式	性別	年代	場面	用法
どうもありがとうございます (ました)	女 2	40 (2)	電話 (2)	強調
	女 2	20 (2)	電話 (2)	
	男	50	応対	
	男	20	応対	
	男	50	応対	
	男	30	打合せ	
	女	不明	打合せ	
	女	40	相談	
	男	40	報告	
どうもすいません(でした)	女	40	電話	強調
	女	20	電話	
	女	40	挨拶	
	女	30	雑談	
	女	40	小会議	
	男	30	打合せ	
どうもお世話になってます	女	40	電話	強調
	女	40	電話	

(おります)	女	20	電話	
	男	20	電話	
きのうはどうもありがとうございます(ました)	男	30	電話	強調
	女	20	電話	
	女	30	挨拶	

表 42 から見ると、「どうもありがとうございます(ました)」、は 20 代から 50 代までの人に使われている。女性では 6 回、男性では 5 回出現し、この形式は性別に関係なく用いられると言える。女性は電話、打合せ、相談の場面で用いるのに対し、男性は応対、打合せ、報告の場面で使用している。また、女性は主に電話の場面に用いるのに対し、男性の使用は「応対」の場面が多い。男女により場面差が見られる。「どうもすいません(でした)」の形式は女性が 5 回使用したのに対し、男性は 1 回である。この形式は男性より女性のほうがよく使う表現と言える。「どうもお世話になってます(おります)」は女性が 3 回使用したのに対し、男性は 1 回である。使用される場面は全て電話の場面であることが観察される。

9.12 職階関係に見る「複合体どうも」

「複合体どうも」の使用は用法によって性別・年代・場面が異なることが分かった。では、職階関係においてはどうかを見てみる。

職場における発話者と受話者の関係は以下図 11 で示す。(不明の 24 例を除く)

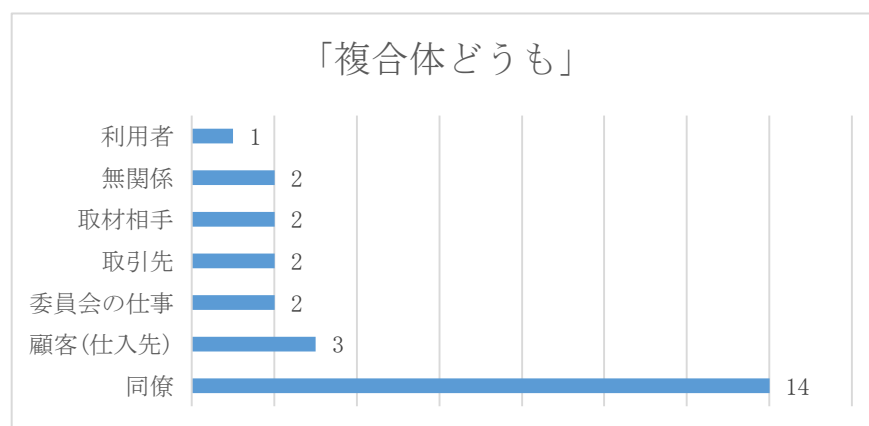


図 11 発話者と受話者の職場関係

図 11 を見ると、無関係や取引先のような間柄での仕事以外の付き合いでも使うが、

同僚同士のような親しい間柄は社外の顧客や取引先より「複合体どうも」を使う割合がずっと高いことがわかる。また、職場関係に拘らず、「複合体どうも」の用法別に発話者と受話者関係をみた内訳を以下の表 38 で示す。

表 43 発話者と受話者との関係

用法	形式	年齢関係	性別関係	職階関係	親疎関係
強調	どうも（ありがとう、 すいません）など	上上 1	同 9	無 11	親 8
		上 5	異 8	上 3	普通 4
		同 6		同 4	疎 5
		下 4		下 3	
フィラー	どうも（しかし、ねえ）	同	同		
推量	どうも（らしい、みたい） など	上 1	同 2	無 2	親 2
		同 2	異 2	下 1	疎 1
		下 2			
判断	どうもこう、勢いとしては など	同	異	同	普通
		下	同	下	親

「強調」の用法は年齢関係において、自分より、年長者、同年齢、年少者に使い、性別に関係なく、同性でも異性でも用いる。職階関係においては、目上・同階・目下・無関係の人に用いられる。つまり、「強調」は年齢関係、性別関係、職階関係、親疎関係などの制限を受けず、全般的に用いられていることが分かる。

「推量」は発話者も受話者も属性が不明であるため、分析から除外する。

「フィラー」は年齢関係において年長者も同年齢も年少者にも使い、性別関係において同性でも異性でも使い、職階関係において無関係の人や目下の人に使い、親疎関係において親しい人と親しくない人にも用いる。つまり、「フィラー」は年齢関係と性別関係、親疎関係においては制限がないが、職階関係に影響されるようである。

「判断」は、年齢関係において年長者に使う例が見られず、性別に関係なく、職階関係においては目上の人に向かって使用する例が見られず、親疎関係において親しくない人に使用する例がなかった。この「判断」の用法は制限があるようである。

9.13 結果の考察

課題 1 について

場面によって用法が違ってくるかどうかだが、今回の調査結果から場面によって用法が異なることが検証された。以下に例を挙げる。

(39) 技術職： どうもこの一、えー。＜言いさし＞【09L・20m・雑談】

(40) ?： どうもねえ、で、ほら、工事で、ごちゃごちゃ、もう、やってたし。

【09J・60m・雑談】

(41) ?： どうもしかし、←こないだ、突然変な電話でごめんなさいね。

【09J・60m・雑談】

この3つの例は全部「フィラー」としての用法であり、「フィラー」は全て「雑談」の場面で用いることが分かる。また、違う場面の例もある。

(42) 経理事務： はい、どうもお世話になっております。【13A・20f・電話】

(43) 大学事務員： どうもお手数（てすう）かけました【14H・20f・打合せ】

例(42)と例(43)は強調としての用法である。用いられている場面は「電話」と「打合せ」の場面である。

以上の例から場面によって、用法が異なることが言える。

課題 2 について

性別により使用される用法が異なるかどうかだが、これについては、性別によりはっきりと用法を使い分けていることが分かった。

(43). 雑誌編集： どうもこう、勢いとしては、ちょっといま下がってる状、況ですね。

(44). ども学生のことだからあの一、きちっとこちらもあの一、たとえば名前だけを書けとか住所も書けとかってゆうふう guidance に指導してなかったんで、(ええ、ええ 他者(男))
<笑いながら> どうもあの一、各自ばらばらなんですよー。【14H・20f・打合せ】

例 43 と例 44 は「判断」としての用法である。このような例から男性の使用は見られず、性別により、それぞれ使用される用法が異なることが言えるのではないだろうか。

課題 3 について

待遇関係において各用法はどうなるかだが、用法は待遇関係に左右されると言ってもよいだろう。以下に例文を挙げる。

(45) 研究所補助員： どうもこうゆう小さいのってここの一、なに、カセットの取り出し' ↑ (うんうん 他者(女))、この開けたりするのが意外とやり★にくいのね。

【14H・20f・打合せ】

(46) 一般事務： でもナイフ、フォークってゆうのはどうも苦手だね、食べた気しない
な。【12A・50f・雑談】

例(45)と例(46)は「判断」としての用法である。このような例では目上の人に向かって使うものは見られない。

『合本 女性のことば・男性のことば(職場編)』における「複合体どうも」の使用実態は以下のようにまとめる。

「複合体どうも」の用法として、「強調」、「フィラー」、「推量」、「判断」がある。「強調」が一番使われる。

「複合体どうも」は 20 代から 60 代まで使われている。特に、20、30 代の人が多用している。

「単体どうも」が使用される場面は「電話」、「雑談」、「打合せ」、「挨拶」、「応対」、「小会議」、「相談」、「報告」の場面である。出現レコード数から見ると、多用されるのは「挨拶」

拶」の場面である。仕事関係か仕事以外かの場面と文体から考えると「複合体どうも」はフォーマルな場面に用いられている、さらに、女性は仕事以外の場面より、仕事関係の場面において、出現比率がかなり高いことが伺われる。

9.14 全体考察

本研究は『合本 女性のことば・男性のことば(職場編)』の談話資料を用い、出現形式・場面・発話者の属性・受話者との関係等から、「単体どうも」と「複合体どうも」の使用実態も明らかにした。まとめたものが表 44 である。

表 44 「単体どうも」と「複合体どうも」の使用状況

	発話者性	場面	文体	発話者 年代	年齢関係	職階関係	親疎関係
単体 どうも	女 11	仕事場面 12	敬体 10	20 (3)	上 4	無 7	親 3
	男 5	仕事以外 5	普通体 7	30 (3)	同 2	同 4	普通 4
				40 (6)	下 6		疎 3
				50 (4)			
				60 (2)			
複合体 どうも	女 26	仕事関係 38	敬体 36	20(17)	上 7	上 2	親 13
	男 23	仕事以外 11	普通体 14	30(15)	同 9	同 5	普通 4
				40(12)	下 7	下 4	疎 7
				50 (3)			
				60 (2)			

「単体どうも」と「複合体どうも」の違いは以下のようにまとめる。

まず、性別において、「単体どうも」の使用は男性より女性の方が多い。これに対し、「複合体どうも」は性別に関係なく使用される。

次に、使用場面において、仕事場面か仕事以外かと文体を合わせて判断すると、「単体どうも」も「複合体どうも」もどちらかというとフォーマルな場面で用いる。

発話者の年代から見ると、「単体どうも」も「複合体どうも」も 20～60 代使用されているが、「複合体どうも」は 50、60 代の方は 20～40 代の人より例数がかなり少なく、年代

差が見られる。年齢関係においては、「単体どうも」も「複合体どうも」も年長者・同年齢・年少者に用い、年齢の制限がないことが分かる。職階関係においては、「単体どうも」は目上の人に向かって使わないのに対して、「複合体どうも」は職階関係において、制限がない。親疎関係において、「単体どうも」も「複合体どうも」も制限がなく用いることが分かる。

9.15 まとめ

『合本 女性のことば・男性のことば(職場編)』のデータを利用し、「単体どうも」の17件を抽出した。それらを出現場面・用法、発話者はどのような属性を持つか、発話者と受話者の関係に基づき分析した結果、わかったことを以下のようにまとめる。

「単体どうも」の形式は「あ、どうもどうも」「先日はどうも」「毎度どうも」「あ、どうも」「どうも」「はいどうも」がある。「単体どうも」の用法として、「出会いの挨拶」、「別れの挨拶」、「感謝」、「お詫び」がある。「感謝」と「出会いの挨拶」が最も使われる。「単体どうも」の使用年代は20代～60代までわたっている。特に、40、50代の人が多用している。「単体どうも」の使用される場面は「応対」「相談」「打合せ」「挨拶」「電話」である。電話」の場面が最も多く、応対の場面が少ない。比較的工作関係等のフォーマルな場面に用いられているが、形式としての「どうも」はインフォーマルな場面で使用される。他の形式「はいどうも」等は比較的工作関係等のフォーマルな場面で使用されることが多い。

「単体どうも」を使う発話者と受話者の関係をみると、職場で目上に向かって使うことはないが、目下か同同級の関係、あるいは、社外の顧客のような無関係の場合など、かなり親しい関係から親しくない関係まで使用できる。ただし、受話者との関係によって、使用する形式が違ってくるようである。

また、「あ、どうもどうも」「あ、[名字]ですー、どうも」の形式は女性だけに見られ、「毎度どうもー」「先日はどうも」の形式は男性だけに見られる。

話し言葉のデータを用い、再度感謝を表す表現は男性だけに見られ、少なくとも職場という環境では「先日はどうも」「毎度どうも」は男性専用語であると断じてよいと思われる。

さらに、同様の分析方法で「複合体どうも」の使用実態を明らかにした。

「複合体どうも」のバリエーションが多く、そのうち、用法としては「判断」、「推量」、「フィラー」、「強調」がある。さらに、用法によって使われる場面が異なることが分かった。「強調」はフォーマルな場面で用いるのに対して、「フィラー」はインフォーマルな場面で使われる。「判断」と「推量」はフォーマルかインフォーマルかに関係なく用いることが分かる。また、「複合体どうも」は性別に関係なく用いる。各形式から見ると、男性と女性では使い分けがあるようである。例えば、「どうもありがとうございます(ました)」は男性も女性も使っているが、「どうもすいません」、「どうもお世話になってます(おります)」は男性より女性に多く使われることが観察された。待遇の面から見ると、「強調」の用法は制限がなく全般に用いられているのに対して、「フィラー」は目上の人に使えないことが分かった。

以上が本研究で得られた知見である。

10. 教科書調査

前章まででは職場における日本語母語話者の「どうも」の運用面について明らかにした。続いて、日本語学習者は「どうも」を知識としてどのように教えているのかをみる。初級段階の日本語学習者は、ほとんど教室学習を通して日本語の知識を身につけるだろう。そこで、本研究ではまず、初級の日本語学習者を対象に、日本語教材を調査した。調査対象は日本の日本語学校でも海外でも広く使われる教材であり、日本語学習者が最も使っている教材と言える『みんなの日本語』である。

『みんなの日本語初級Ⅰ（本冊）』における単体「どうも」の使用実例を調査し、結果は以下の通りである。

(1) 会話 「これをください」

店員A： いらっしゃいませ。

マリア： すみません。ワイン売り場はどこですか。

店員A： 地下1階です。

マリア： どうも。(p 23)

(2)練習C

A : すみません。トイレはどこですか。

B : あそこです。

A : どうも。(p 27)

(3)会話「そちらは何時までですか」

店の人 : はい、「あすか」です。

ミラー : すみません。そちらは何時までですか。

店の人 : 10 時までです。

ミラー : 休みは何曜日ですか。

店の人 : 日曜日です。

ミラー : そうですか。どうも。(p 33)

(4)練習C

A : やまと美術館は何時から何時までですか。

B : 10 時から 4 時までです。

A : 休みは何曜日ですか。

B : 月曜日です。

A : どうも。(p 37)

(5)練習C(2)

A : 試験は何時からですか。

B : 10 時からです。

A : 何時に終わりますか。

B : 12 時に終わります。

A : そうですか。どうも。(p 37)

(6) 会話 「この電車は甲子園へ行きますか」

サントス： すみません。甲子園までいくらですか。

女の子： 350 円です。

サントス： 350 円ですね。ありがとうございました。

女の子： どういたしまして。

サントス： すみません。甲子園は何番線ですか。

駅員： 5 番線です。

サントス： どうも。

サントス： あのう、この電車は甲子園へ行きますか。

男の人： いいえ。次の「普通」ですよ。

サントス： そうですか。 どうも。(p 41)

(7) 会話 「ナンプラー、ありますか」

ミラー： あのう、ナンプラー、ありますか。

店員： はい。

あちらにタイ料理のコーナーがあります。

ナンプラーはいちばん下です。

ミラー： わかりました。 どうも。(p 83)

(8) 練習 C(2)

A: すみません。

電池はどこですか。

B: 電池ですか。

雑誌の前にあります。

A: どうも。(p 87)

(9)練習 C(3)

A: すみません。ミラーさんはいますか。

B: ええ、あそこにいますよ。

ドアの近くです。

A: どうも。(p 87)

(10)練習 C(1)

A: ちょっとすみません。

B: はい。

A: このカタログ、もらってもいいですか。

B: ええ、どうぞ。

A: どうも。(p 131)

(11)練習 C(2)

A: 田中さんにもらったカタログはどこにありますか。

B: えーと、あの机の上にありますよ。

A: あ、そうですか。 どうも。(p191)

(12)練習 C(2)

A: すみません。紙のサイズを変えたいとき、どうしますか。

B: このボタンを押します。

A: わかりました。 どうも。(p 201)

(13)練習 C(3)

A: ちょっとすみません。近くに銀行がありますか。

B: 銀行ですか。あそこに信号がありますね。

A: ええ。

B: あそこを渡って、まっすぐ行くと、右にありますよ。

A: どうも。(p 201)

『みんなの日本語初級Ⅰ（本冊）』における複合体「どうも」の使用事例を調査し、結果は以下の通りである。

(14) 会話 「これからお世話になります。」

山田一郎： はい。 どなたですか。

サントス： 408 の サントスです。

サントス： こんにちは。 サントスです。

これから お世話に になります。

どうぞ よろしく お願いします。

山田一郎： こちらこそ よろしく お願いします。

サントス： あのう、これ、コーヒーです。 どうぞ。

山田一郎： どうも ありがとう ございます。(p 15)

(15) 「練習C」

A： あのう、これ、お土産です。

B： えっ、何ですか。

A： コーヒーです。どうぞ。

B： どうも ありがとうございます。(p 19)

(16) 会話 「そちらは何時までですか」

ミラー： すみません、「あすか」の電話番号は何番ですか。

佐藤： 「あすか」ですか。 5275 の 2725 です。

ミラー： どうも ありがとうございます。(p 33)

(17) 会話 「そろそろ失礼します」

山田一郎： マリアさん、日本の生活はどうですか。

マリア・サントス： 毎日とても楽しいです。

山田一郎： そうですか。 サントスさん、お仕事はどうですか。

ジョゼ・サントス： そうですね。 忙しいですが、おもしろいです。

山田友子：コーヒー、もう一杯いかがですか。

マリア・サントス：いいえ、けっこうです。

ジョゼ・サントス：あ、もう6時ですね。そろそろ失礼します。

山田一郎：　そうですか。

マリア・サントス：きょうはどうもありがとうございました。。

山田友子：　いいえ。またいらっしゃってください。(p 67)

(18)会話　「ナンプラー、ありますか」

ミラー：すみません。アジアストアはどこですか。

女の人：アジアストアですか。

あそこに白いビルがありますね。

あのビルの中です。

ミラー：　そうですか。どうもすみません。

女の人：　いいえ。(p 83)

(19)会話　「祇園祭はどうでしたか。」

ミラー：　ただいま。

管理人：　お帰りなさい。

ミラー：　これ、京都のお土産です。

管理人：　どうもすみません。

祇園祭はどうでしたか。

ミラー：　おもしろかったです。

とてもにぎやかでした。

管理人：　祇園祭は京都の祭りでいちばん有名ですからね。

ミラー：　そうですか。

写真をたくさん撮りました。これです。

管理人： わあ、すごい人ですね。

ミラー： ええ。ちょっと疲れました。(p 99)

(20)練習 C(1)

A: すみません。「おはようテレビ」ですが、

今 何がいちばん欲しいですか。

B: 広いうちが欲しいです。

今のうちは狭いですから。

A: そうですか。

どうもありがとうございました。(p 115)

(21)会話「使い方を教えてください」

マリア： すみませんが、ちょっと使い方を教えてください。

銀行員： お引き出しですか。

マリア： そうです。

銀行員： じゃ、まずここを押してください。

マリア： はい。

銀行員： 次に、キャッシュカードをここに入れて、暗証番号を押してください。

マリア： はい。

押しました。

銀行員： じゃ、金額を押してください。

マリア： 5万円ですが、5・・・・・。

銀行員： この「万」「円」を押します。

それからこの「確認」ボタンを押してください。

マリア： どうもありがとうございました。(p 135)

会話 「どうしましたか」

医者：どうしましたか。

松本：きのうからのどが痛くて、熱も少しあります。

医者：そうですか。ちょっと口を開けてください。

医者：かぜですね。2、3日ゆっくり休んでください。

松本：あのう、あしたから東京へ出張しなければなりません。

医者：じゃ、きょうは薬を飲んで、早く寝てください。

松本：はい。

医者：それから今晚はお風呂に入らないでくださいね。

松本：はい、わかりました。

医者：じゃ、お大事に。

松本：どうもありがとうございました。(p 145)

(22)会話 「どうやって行きますか」

図書館の人： はい、みどり図書館です。

カリナ： あのう、そちらまでどうやって行きますか。

図書館の人： 本田駅から12番のバスに乗って、図書館前で降りてください。三つ目です。

カリナ： 三つ目ですね。

図書館の人： ええ。降りると、前に公園があります。図書館は公園の中の白い建物です。

カリナ： わかりました。それから本を借りるとき、何か要りますか。

図書館の人： お名前とご住所がわかる物を持って来てください。

カリナ： はい。どうもありがとうございました。(p 197)

(23)復習 G (1)

すみません、郵便局はどこですか。

．．．．．あの交差点 () 右 () 曲がる ()、ありますよ。

どうもありがとうございました。

．．．．．道 () 渡るとき、車 () 気を付けてくださいね。

★歩いている人が道を教えて__。(p 220)

『みんなの日本語初級Ⅱ (本冊)』における「単体どうも」の使用実例を調査し、結果は以下の通りである。

(24)練習 C (1)

A:すみません。①日本語を入力したいんですが。

B: ②ここをクリックして、日本語を選べば、①入力できますよ。

A:そうですか。どうも。(p 81)

(25)練習 C (2)

A:あのう、缶詰を開けるのに使う物が欲しいんですが．．．．．。

B:ああ、缶切りですね。あの棚にありますよ。

A:どうも。(p143)

(26)練習 C (1)

A: ミラーさん。

B:はい。

A: コートのボタンがとれそうですよ。

B: あ、ほんとうだ。気がつきませんでした。どうも。(p151)

(27)練習 C (3)

A : すみません。ちょっと教えてくださいませんか。

B : ええ、何ですか。

A : この図を大きくしたいんですが、どうすればいいですか。

B : ここをクリックすればいいですよ。

A : そうですか。どうも。(p 159)

『みんなの日本語初級Ⅱ (本冊)』における「複合体どうも」の使用実例を調査し、結果は以下の通りである。

(28)会話 「忘れ物をしてしまったんです」

イー：すみません。今の電車に忘れ物をしてしまったんですが・・・・・・。

駅員：何を忘れたんですか。

イー：青いかばんです。このくらいの・・・・・・。外側に大きいポケットが付いています。

駅員：どの辺に置きましたか。

イー：よく覚えていません。でも、網棚の上に置きました。

駅員：中に何が入っていますか。

イー：えーと、確か、本と傘が入っています。

駅員：じゃ、調べますから、ちょっと待っていてください。

駅員：ありましたよ。

イー：ああ、よかった。

駅員：今新宿駅にありますか、どうしますか。

イー：すぐ取りに行きます。

駅員：じゃ、新宿駅の事務所に行ってください。

イー：はい。どうもありがとうございました。(p 27)

(29)練習 C (1)

A: あのう。

B: はい。

A: かばんが開いていますよ。

B: えっ。あ、どうもすみません。(p 31)

(30)会話 「どこかいい所、ありませんか」

タワポン: 鈴木さん、冬休みに友達とスキーに行きたいんですが、どこかいい所、ありませんか。

鈴木: 何日ぐらいの予定ですか。

タワポン: 3 日ぐらいです。

鈴木: それなら、草津か志賀高原がいいと思いますよ。温泉もあるし。

タワポン: どうやって行くんですか。

鈴木: JR でも行けますが、夜行バスなら、到着きますから、便利ですよ。

タワポン: そうですか。どちらが安いんですか。

鈴木: さあ。旅行社へ行けばもっと詳しいことがわかりますよ。

タワポン: それからスキーの道具や服は何も持っていないんですが。

鈴木: 全部スキー場で借りられますよ。心配なら、旅行社で予約もできるし。

タワポン: そうですか。どうもありがとうございました。(p 77)

(31)会話 「毎日運動するようにしています」

アナウンサー: 皆さん、こんにちは。きょうのお客様はことし 80 歳の小川よねさんです。

小川よね: こんにちは。

アナウンサー: お元気ですね。何か特別なことをしていच्छいますか。

小川よね: 毎日運動するようにしています。

アナウンサー: どんな運動ですか。

小川よね：ダンスとか、水泳とか……。最近 500 メートル泳げるようになりました。

アナウンサー：すごいですね。食べ物は？

小川よね：何でも食べますが、特に魚が好きです。毎日違う料理を作るようにしています。

アナウンサー：頭と体をよく使っていらっしゃるんですね。

小川よね：ええ。来年フランスへ行きたいと思っています。それでフランス語の勉強も始めました。

アナウンサー：何でもチャレンジする気持ちが大切なんですね。楽しいお話、どうもありがとうございます。(p 89)

(32) 会話 「遅れて、すみません」

ミラー： 課長、遅れて、すみません。

中村課長：ミラーさん、どうしたんですか。

ミラー： 実は来る途中で事故があって、バスが遅れてしまったんです。

中村課長：バスの事故ですか。

ミラー： いいえ。交差点でトラックと車がぶつかって、バスが動かなかったんです。

中村課長：それは大変でしたね。連絡がないので、みんな心配していたんですよ。

ミラー：電話したかったんですが、ケータイをうちに忘れてしまって……。

どうもすみませんでした。

中村課長：わかりました。じゃ、会議を始めましょう。(p 113)

(33) 例文

1 上着のボタンがとれそうですよ。

……あっ、ほんとうですね。どうもありがとうございます。(p 146)

(34) 会話 「この写真みたいにしてください」

美容師：いらっしゃいませ。きょうはどうなさいますか。

イー：カット、お願いします。

美容師：じゃ、シャンプーをしますから、こちらへどうぞ。

美容師：カットはどういうふうになさいますか。

イー：ショートにしたいんですけど……。この写真みたいにしてください。

美容師：あ、すてきですね。

美容師：前の長さはこれでよろしいでしょうか。

イー：そうですね。もう少し短くしてください。

美容師：どうもお疲れ様でした。

イー：ありがとう。(p 155)

(35) 復習 K2)

シャツのボタンが（とれます→ ）そうですよ。

……どうもありがとうございます。(p 170)

(36) 会話 「婚約したそうです」

渡辺：お先に失礼します。

高橋：あっ、渡辺さん、ちょっと待って。僕も帰ります。

渡辺：すみません、ちょっと急ぎますから。

高橋：渡辺さん、このごろ早く帰りますね。どうも恋人ができたようですね。

林： あ、知らないんですか。この間婚約したそうですよ。

高橋：えっ、だれですか、相手は。

林： IMC の鈴木さんですよ。

高橋：えっ、鈴木さん？

林： ワットさんの結婚式で知り合ったそうですよ。

高橋：そうですか。

林： ところで、高橋さんは？

高橋：僕ですか。僕は仕事が恋人です。(p 181)

(37)例文 4

ちょっと切符を拝見します。

……はい。

どうもありがとうございました。 (p 204)

(38)会話 「心から感謝いたします」

司会者： 優勝おめでとうございます。すばらしいスピーチでした。

ミラー： ありがとうございます。

司会者： 緊張なさいましたか。

ミラー： はい、とても緊張いたしました。

司会者： 練習は大変でしたか。

ミラー： ええ。忙しくて、なかなか練習の時間がありませんでした。

司会者： 賞金は何にお使いになりますか。

ミラー： そうですね。わたしは動物が好きで、子どものときからアフリカへ行くのが夢でした。

司会者： じゃ、アフリカへ行けますか。

ミラー： はい。アフリカの自然の中できりんや象を見たいと思います。

司会者： 子どものころの夢がかなうんですね。

ミラー： はい。うれしいです。応援してくださった皆様に心から感謝いたします。

どうもありがとうございました。 (p 205)

(39) 復習 L2 (5)

どうも コピー機の調子が（悪いです→ ） ようです。（p 212）

(40) 副詞・接続詞・会話表現のまとめ II

3) (2) 救急車が来ていますね。

（a. どういう b. どう c. どうも）交通事故があったようです。（p 214）

7) では、ミラーさん、皆様にひとことお願いします。

……はい。皆様応援ありがとうございました。

（a. いいことですね b. どうもお疲れ様でした c. 心から感謝いたします）。（p 215）

以上の例文は目視で教科書に沿って調査を行った。出典を以下表 46 のようにまとめる。

表 46 『みんなの日本語』における「どうも」

出典	形式	出現回数	ページ数	テーマ
みんなの日本語 (初級 I 第 2 版 2013)	単体			
	どうも	13	p 23、p 27、p 33、 p 37(2 回)、p 41、 p 83、p 87(2 回)、 p 131、p 191、 p 201 (2 回)	会話 4 練習問題 9
	複合体			
	どうもありがとうございます	3	p 15、p 19、p 33	会話 2 練習問題 1
	どうもありがとうございました	6	p 115、p 135、 p 145、p 197、p 220	会話 4 練習問題 1

				復習 1
	どうもすみません	2	p 83、p 99	会話 2
みんなの日本語 (初級Ⅱ第2版 1998)	単体			
	どうも	4	p 81、p 143、p151、 p159	練習問題 2
	複合体			
	どうもありがとうございました	5	p 27、p 77、p 89、 p204、p205	会話 4 例文 1
	どうもありがとうございます	2	P146、p170	例文 1 練習問題 1
	どうもすみません	1	p 31	練習問題 1
	どうもすみませんでした	1	p 113	会話 1
	どうもお疲れ様でした	2	p 146、p215	例文 1 練習問題 1
	どうも・・・ようです	3	P181、p212、p214	会話 1 練習問題 2

このように、『みんなの日本語』初級Ⅰでは「どうも」は会話文と練習問題に出現した。『みんなの日本語』Ⅰでは「単体どうも」13件、「複合体どうも」11件、合計が24件みられたことに對し、『みんなの日本語』Ⅱでは「単体どうも」4件、「複合体どうも」14件、合計が18件みられた。『みんなの日本語』ⅠもⅡも「どうも」についての説明は全くない。『みんなの日本語』Ⅰでは「複合体どうも」の形式は「ありがとうございます」と「すみません」以外は見られなかった。『みんなの日本語』Ⅱでは「複合体どうも」の形式は「ありがとうございます(ました)」「すみません(でした)」「お疲れ様でした」「・・・ようです」がみられた。

11 今後の課題

今回は職場だけのデータを用いたため、「どうも」の使い分けについては結論を出すことができない。「どうも」の使い分けの厳密な分析を行うには、他のコーパスと比較しなければならないだろう。職場以外の日本語母語話者のデータを分析し、日本語学習者が持っている知識はどうなるかをみる必要があるといえる。

〈参考文献〉

- 井出祥子・堀素子・川崎晶子・生田少子・芳賀日登美(1985)『女性の敬語の言語形式と機能』文部省科学研究費研究成果報告書.
- 宇佐美まゆみ(2011) 現代日本語研究会編『合本 女性のことば・男性のことば(職場編)』 pp. 241-268, ひつじ書房.
- 于亮・劉玉琴(2017)「あいさつ言葉とした「どうも」の実証的研究」『高橋弥彦先生退官記念号』, pp. 34-44
- 遠藤織枝(2011)「職場の敬語のいま」現代日本語研究会編『合本 女性のことば・男性のことば(職場編)』 pp. 83-138, ひつじ書房.
- 遠藤織枝・尾崎喜光(2011) 現代日本語研究会編『合本 女性のことば・男性のことば(職場編)』 pp. 9-32, ひつじ書房.
- 尾崎喜光(2011)「女性専用の文末形式のいま」現代日本語研究会編『合本 女性のことば・男性のことば(職場編)』 pp. 33-58, ひつじ書房.
- 住田幾子(1993)「日本語のあいさつことば: 「どうも。」のはたらきについて」『日本文学研究』 29, pp. 215-223, 梅光学院大学.
- 比嘉正範(1985)「あいさつとあいさつ言葉」, 『日本語学 8月号』, 明治書院, pp. 15-22
- 高崎みどり(2011)「女性の働き方とことばの多様性」現代日本語研究会編『合本 女性のことば・男性のことば(職場編)』 pp. 213-240, ひつじ書房.
- 中島悦子(2011) 現代日本語研究会編『合本 女性のことば・男性のことば(職場編)』 pp. 59-82, ひつじ書房.

正木亜紀（1993）「あいさつ語としての「どうも」の使用に関する考察」『第五回日本言語文化学会発表要旨』 pp. 52-57

三井紹子（2011）「話しことばの「だから」「それで」」現代日本語研究会編『合本 女性のことば・男性のことば(職場編)』 pp. 155-174, ひつじ書房.

謝辞

本論文は筆者が首都大学東京大学院博士前期課程に在籍中の研究成果をまとめたものである。同専攻教授長谷川守寿先生には指導教官として本研究の実施の機会を与えて頂き、その遂行にあたって終始ご指導を頂いた。ここに深謝の意を表する。同専攻教授浅川哲也先生、並びに、同専攻准教授奥野由紀子先生にはご助言を頂くとともに本論文の細部にわたりご指導を頂いた。ここに深謝の意を表する。また本専攻劉永亮助教及び孟盈さんには研究遂行にあたり日頃より有益な討論の機会とご助言を頂いた。ここに感謝の意を表する。